

消防



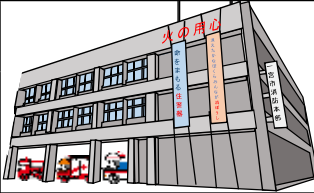
一宮市消防本部イメージキャラクター
「いさはや君」

2026 No.76 年報

Ichinomiya City Fire Department Annual Report

一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ² 人口 374,471人 世帯数 171,572世帯 2026年4月1日現在	一般会計予算 146,740,000千円 消防予算 4,604,289千円 2026年4月1日現在	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 8 2026年4月1日現在	条例定数 414人 現員数 411人 2026年4月1日現在

		
消防団員	消 防 車 両	1 1 9 番受信
条例定数 605人 現員数 472人 2026年4月1日現在	タンク車 16台 ポンプ車 4台 救急車 14台 はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 1台 その他 28台 合 計 67台 2026年4月1日現在	火 災 220件 救 急 19,861件 その他 6,463件 合 計 26,544件 2025年中

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 42件 車 両 9件 その他 9件 合 計 60件 2025年中	1位 たばこ 7件 2位 電気機器 6件 3位 たき火 4件 3位 こんろ 4件 2025年中	出動件数 272件 活動件数 164件 救助人員 124件 2025年中	出動件数 21,199件 搬送人員 20,174件 2025年中

			
音 楽 隊	査察対象物	危険物施設	消防クラブ会員
隊員数 36人 2026年4月1日現在 演奏回数 19回 2025年度中	特定対象物 2,407か所 非特定対象物 2,915か所 2026年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 246か所 取扱所 150か所 2026年4月1日現在	幼年 7,274人 少年 6,252人 女性 182人 2026年4月1日現在

一宮市民憲章

わたしたちのまち一宮市は、木曽の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、
だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。
1. **ち**きゅうを愛し、
自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。
1. **の**びやかに青少年が育ち、
個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。
1. **み**どり豊かなふるさとを守り、
活力ある産業のまちをつくります。
1. **や**さしさと思いやりに満ち、
夢と希望があふれるまちをつくります。

[平成 19 年 3 月 28 日制定]

は じ め に

本市消防本部は、１９４８年（昭和２３年）に消防本部・消防署を設置して以来、皆様の温かいご支援と努力の積み重ねにより、地域に根ざした防災機関として着実に発展を遂げてまいりました。

近年、本市においては大規模な災害の発生はありませんが、全国的には地震や豪雨災害、大きな山林火災など自然災害が各地で相次いで発生しています。こうした状況を踏まえ、いつどこで発生してもおかしくない災害に対し、平時からの「備え」の重要性が一層高まっています。

特に、近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震は、本市においても広範囲にわたる被害が想定されており、これまで以上に実践的な対策が求められています。こうした状況を背景に、各種災害に迅速かつ確実に対応していくことはもとより、市民の皆様が安全かつ安心して生活できる「備え」として、設備・装備の充実化を図り、さらには「地域防災力」を強化していく所存です。

本書は、２０２６年４月１日現在における本市の消防体制及び２０２５年中の市内で発生した火災等の実態を取りまとめて収録したものです。

ご高覧を賜り、本市消防行政の飛躍に向け、市民の皆様の一層のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いに存じます。

２０２６年７月

一 宮 市 消 防 本 部

○2026 年度 全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣



○2026・2027 年度 一宮市防火標語

火より先 消すべきものは その油断



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I 総 括

市の概要	1
一宮市の人口・世帯数	2
消防機関の配置	3
消防のあゆみ	4
消防の主な行事	8
消防情勢の推移	10
消防本部・消防署の組織	12
消防本部・消防署の事務分掌	13
消防団の組織	14
消防本部・消防署の庁舎現況	15
消防団の庁舎現況	16
消防本部・消防署車両の現勢	18
消防団車両の現勢	21
消防音楽隊のあゆみ	22
消防音楽隊の編成	25
消防音楽隊の活動状況	25

II 総 務

当初予算の推移	26
決算額と構成の推移	26
消防職員の配置	27
消防職員の年齢	29
消防職員の勤続年数	29
消防職員資格等保有状況	30
消防職員教育研修状況	31
災害防止	32
安全管理	32
消防協力者表彰	32
施設・装備充実事業	33

III 通 信 ・ 気 象

指令システム構成図	35
無線設備	36
指令回線等一覧表	37
月別119番受信状況	38

携 帯 電 話 か ら の 月 別 119 番 受 信 状 況	39
月 別 気 象 状 況	40
一 宮 市 の 警 報 ・ 注 意 報 発 表 基 準	40

IV 消 防 団

消 防 団 の 現 況	41
消 防 団 及 び 消 防 団 員 の 状 況	41
消 防 団 の 活 動 状 況	41
団 員 報 酬 額	42
費 用 弁 償	42
消 防 団 員 の 退 職 状 況	42
消 防 団 員 の 新 任 状 況	42
消 防 団 員 の 勤 続 年 数	42
消 防 団 員 の 職 業 構 成 と 就 業 形 態	42
消 防 団 員 の 年 齢	43

V 予 防

火 災 予 防 普 及 活 動 状 況	45
幼 年 ・ 少 年 ・ 女 性 消 防 ク ラ ブ の 現 況	45
街 頭 消 火 器 設 置 状 況	46
街 頭 消 火 器 火 災 使 用 状 況	47
査 察 対 象 物 数	48
各 種 届 出 件 数	49
用 途 別 同 意 建 築 物 数	50
危 険 物 施 設 数	51
指 定 数 量 の 倍 数 ・ 類 別 危 険 物 施 設 数	52
危 険 物 施 設 の 設 置 ・ 変 更 許 可 等	53
タ ン ク 検 査 状 況	53
危 険 物 施 設 届 出 等 状 況	53

VI 火 災

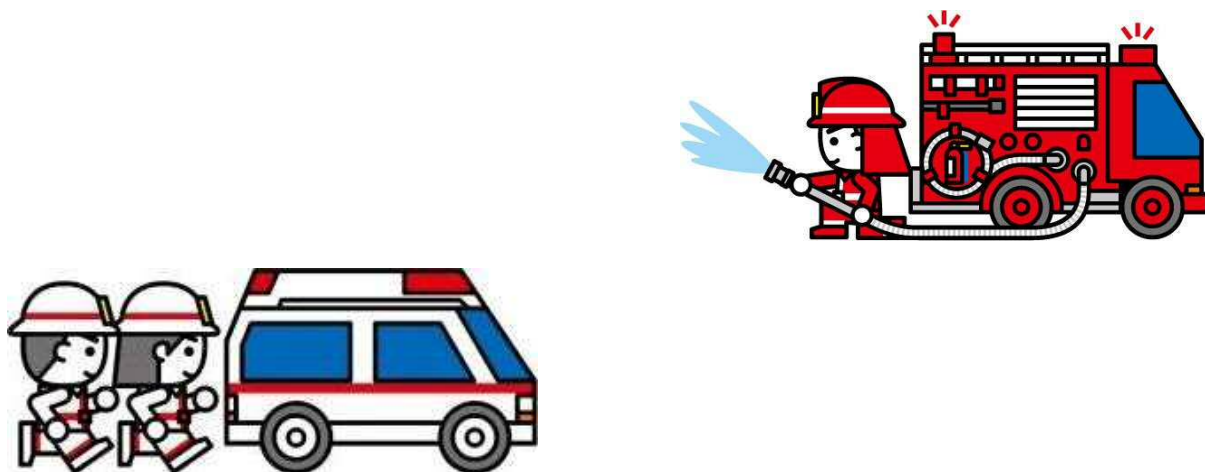
火 災 の 概 況	54
出 火 原 因	55
建 物 用 途 別 ・ 原 因 別 件 数	56
連 区 ・ 月 別 の 火 災 件 数	57
過 去 10 年 間 の 火 災 発 生 件 数	59
高 速 道 路 の 火 災	60

VII 警 防

災 害 種 別 の 出 動 状 況	6 1
消 防 活 動 用 資 器 材 の 配 置	6 2
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	6 4
消 防 水 利 の 現 況	6 5
応 援 協 力 計 画	6 6
緊 急 消 防 援 助 隊	6 7

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 1 0 年 間 の 救 急 活 動 状 況	7 1
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	7 2
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	7 3
連 区 別 救 急 出 動 件 数	7 4
連 区 別 救 急 搬 送 人 員	7 5
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	7 6
病 院 収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	7 6
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	7 7
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	7 8
救 急 高 度 化 の 推 移	8 0
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	8 1
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	8 2
救 助 活 動 状 況	8 3
月 別 救 助 出 動 状 況	8 4
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	8 5



總括



市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

1921 年（大正 10 年）9 月 1 日に市制を施行、1940 年（昭和 15 年）に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、1955 年（昭和 30 年）1 月に丹陽村と浅井町、4 月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに 2005 年（平成 17 年）4 月に尾西市、木曽川町と合併し現在の 113.82 km²の都市が実現しました。

2026 年（令和 8 年）4 月 1 日現在、人口 374,471 人、世帯数 171,572 世帯となり、市北部から西部へと約 18 キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位置：北緯 35 度 18 分、東経 136 度 48 分

■面積：113.82 km²

東西 15.3 km、南北 13.3 km

■人口：374,471 人

男 182,671 人 女 191,800 人

■世帯数：171,572 世帯

■人口密度：3,290 人/km²

(2026 年 4 月 1 日現在)

■Location: Lat. 35° 18' N & Long. 136° 48' E

■Area: 113.82 km²

East-West: 15.3 km North-South: 13.3 km

■Population: 374,471 people;

Male: 182,671 people, Female: 191,800 people

■Number of households: 171,572 households

■Population density: 3,290 people/km²

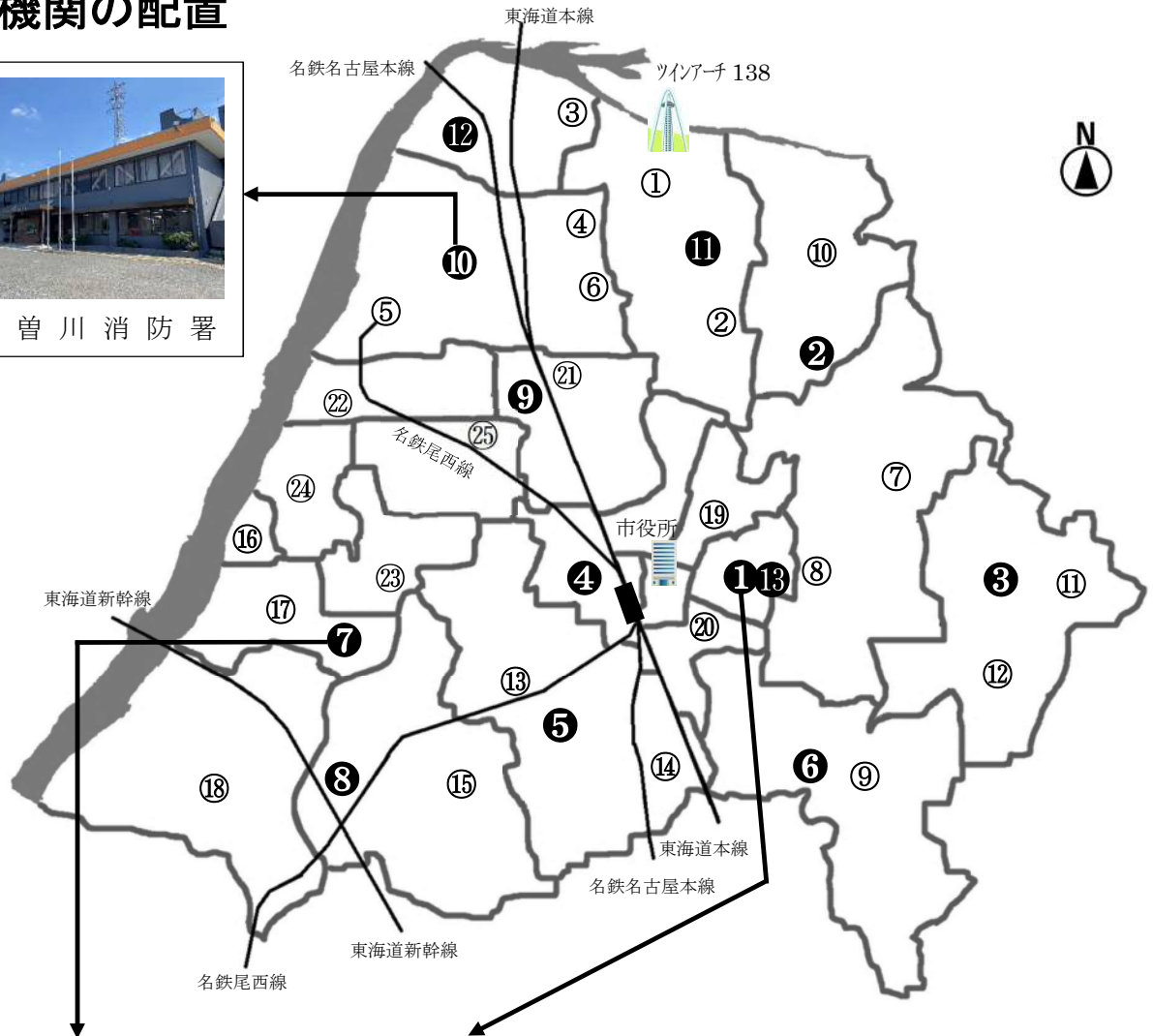
(As of April. 1. 2026)

一宮市の人口・世帯数

2026年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	171,572	374,471	182,671	191,800
宮 西	5,453	11,662	5,621	6,041
貴 船	5,364	11,038	5,272	5,766
神 山	7,750	15,853	7,754	8,099
大 志	2,554	5,048	2,370	2,678
向 山	4,245	9,055	4,419	4,636
富 士	4,459	9,344	4,503	4,841
葉 栗	6,990	15,798	7,714	8,084
西 成	14,956	33,459	16,382	17,077
丹 陽 町	13,444	28,321	14,306	14,015
浅 井 町	8,346	18,433	8,892	9,541
北 方 町	3,926	9,043	4,399	4,644
大 和 町	19,478	42,027	20,533	21,494
今 伊 勢 町	12,182	26,259	12,783	13,476
奥 町	6,092	13,850	6,668	7,182
萩 原 町	7,858	17,428	8,395	9,033
千 秋 町	7,171	16,890	8,308	8,582
起	1,538	3,251	1,580	1,671
小 信 中 島	4,585	10,499	5,106	5,393
三 条	6,121	13,410	6,445	6,965
大 徳	4,837	10,180	5,017	5,163
朝 日	5,377	11,806	5,766	6,040
開 明	3,715	8,149	3,951	4,198
木 曾 川 町	15,131	33,668	16,487	17,181

消防機関の配置



※詳しくはこちらをご覧ください

一宮市公式ウェブサイト内
地図情報サイト「138 マップ」

<https://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya>

【施設・地域情報】



【消防施設】



消 防 本 部 ・ 消 防 署 ・ 出 張 所 ・ 倉 庫	
① 消 防 本 部	⑦ 尾 西 消 防 署
一 宮 消 防 署 本 署	⑧ 萩 原 消 防 出 張 所
② 浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所	⑨ 今 伊 勢 ・ 奥 消 防 出 張 所
③ 千 秋 消 防 出 張 所	⑩ 木 曽 川 消 防 署
消 防 署 整 備 工 場	⑪ 葉 栗 消 防 出 張 所
④ 八 幡 消 防 分 署	⑫ 北 方 消 防 出 張 所
⑤ 大 和 消 防 出 張 所	⑬ 緑 消 防 倉 庫
⑥ 丹 陽 消 防 出 張 所	

分 団 庁 舎			
北 部 方面隊	東 部 方面隊	南 部 方面隊	西 部 方面隊
① 葉 栗 北	⑦ 西 成 北	⑬ 大 和 西	⑲ 真 清 北
② 葉 栗 南	⑧ 西 成 南	⑭ 大 和 東	⑳ 真 清 南
③ 北 方	⑨ 丹 陽	⑮ 萩 原	㉑ 今 伊 勢
④ 木 曽 川 北	⑩ 浅 井	⑯ 起	㉒ 奥
⑤ 木 曽 川 西	⑪ 千 秋 北	⑰ 大 徳	㉓ 三 条
⑥ 木 曽 川 東	⑫ 千 秋 南	⑱ 朝 日	㉔ 小 信 中 島
			㉕ 開 明

消防のあゆみ

- (一) : 旧一宮市消防本部
 (尾) : 旧尾西市消防本部
 (木) : 旧木曽川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曽川署)

昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町苅安賀地内に開所
昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所
昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入

平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課・予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録
平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を閉所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稲沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称
平成29年 3月	一宮消防署本署に支援車を導入
平成29年 4月	浅井消防出張所と西成消防出張所の統合に伴い、浅井・西成消防出張所を開所し、救急隊を配置 一宮消防署本署に特別消防隊を配置
平成31年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新

令和 2年 2月	旧丹陽消防出張所を解体し、訓練スペースを整備
令和 2年 10月	Net119緊急通報システムの運用を開始
令和 3年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 一宮消防署本署に救助資機材搬送車を導入
令和 3年 4月	一宮消防署本署に高度救助隊を配置 木曽川消防署に特別救助隊を配置
令和 4年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 4年 4月	一宮消防署管理課と総務課内の施設装備担当を統合して消防救急課を創設、消防救急課内に普通勤務の救急隊を配置 消防団員の処遇改善として、年額報酬に加え出動報酬を創設
令和 5年 1月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 5年 12月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 7年 6月	救急隊のコンビニエンスストア利用開始
令和 8年 2月	消防緊急通信指令システム全面更新、消防救急デジタル無線設備更新
令和 8年 4月	消防本部の組織改革を行い、消防本部の消防救急課を消防課、救急課に分課

消防の主な行事

2025年

(2025年4月1日～2026年3月31日)

月	日	行事名	実施場所
4月	6日	一宮市消防団員任命式	尾西消防署
5月	3～5日	リバーサイドフェスティバル	138タワーパーク
	19日	緊急消防援助隊愛知県大隊合同情報伝達訓練	尾西消防署
	21日	消防本部安全衛生委員会上半期	消防本部
6月	3・4日	熱中症予防啓発活動	テラスウォーク一宮 スーパービバホーム一宮店
	8日	第21回一宮市消防団操法大会	九品地公園競技場
	8日	浅井町連区防災訓練	浅井各小学校
	12日	危険物施設消防訓練	大森石油株式会社 DD一宮インター店
	20日	名古屋鉄道株式会社との救助合同訓練	名古屋鉄道犬山検査場
7月	7～10日	一宮七夕まつり特別査察	名鉄一宮駅ビル、名鉄一宮 パークビル、μ PLAT一宮、ふ とんタナカー宮総本店、アス ティー宮、尾張一宮駅前ビル
	23日	消防職員委員会	消防本部
	29日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校	愛知県消防学校
8月	9日	第70回愛知県消防操法大会	豊田市柳川瀬公園
	24日	市総合防災訓練	九品地公園競技場
9月	13日	一宮市救急フェア	イオンモール木曽川
	27日	消防団員研修会	尾西消防署
10月	5日	北方防災町民運動会	北方小学校
	6日	四消防本部合同水難救助訓練	稲沢市 木曽川馬飼大橋上流左岸
	19日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	26日	千秋町連区防災訓練	千秋中学校
	26日	奥町連区防災訓練	奥小学校
	29日	緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練	内津峠パーキングエリア
	31日	消防本部安全衛生委員会下半期	消防本部

11月	2日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	3日	大徳連区防災訓練	大徳小学校
	8～16日	一宮市児童防火作品入賞作品の展示	テラスウォーク一宮
	9日	第47回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市尾西市民会館
	9日	今伊勢町連区防災訓練	今伊勢西小学校
	12日	秋季火災予防運動消防訓練	一宮西病院
	12日	尾張西北部地区消防合同訓練	株式会社フジキカイ
	15・16日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	岐阜県高山市位山交流広場モンデウスパーク
	16日	萩原町連区防災訓練	中島小学校、萩原小学校
	16日	三条連区防災訓練	三条小学校
	16日	開明連区防災訓練	尾西運動場、開明公民館
	16日	木曽川町連区防災訓練	黒田小学校
	18日	移動タンク貯蔵所等路上立入検査	大和町毛受地内主要地方道岐阜稲沢線
	18・19日	警防技術発表会	尾西消防署
	30日	富士連区防災訓練	富士小学校
	30日	向山連区防災訓練	向山小学校
12月	7日	西成連区防災訓練	西成東小学校
	7日	朝日連区防災訓練	朝日東小学校
	16～18日	年末特別査察	イオンモール木曽川、ビバホーム一宮、エディオン一宮本店、テラスウォーク一宮、アピタパワー木曽川店(その他5件)
	29・30日	消防団年末特別警戒	市内

2026年

1月	18日	一宮市消防出初式	九品地公園競技場
	28日	文化財防火訓練	石刀神社(浅井町黒岩地内)
2月	1日	貴船連区防災訓練	貴船小学校
	10日	緊急消防援助隊後方支援活動訓練	名古屋市消防学校
	12日	尾張西北部広域二次救急医療圏 症例検討会	消防本部
	13日	岩倉市消防本部との消防合同訓練	旧岩倉市青少年宿泊研修施設
	28日	修文大学合同シュガークラフトを用いた火災予防啓発	尾張一宮駅前ビル シビックテラス
3月	2・3日	岐阜市消防本部消防隊との合同訓練(NOBIプロジェクト)	岐阜市消防本部岐阜南消防署
	3日	女性消防クラブ員による住宅防火啓発	テラスウォーク一宮
	4日	文化財防火パトロール	庚申寺、法圓寺、神明社、円光寺
	27日	一宮市・稲沢市消防指令センター新消防指令システム完成披露会	消防本部

消防情勢の推移

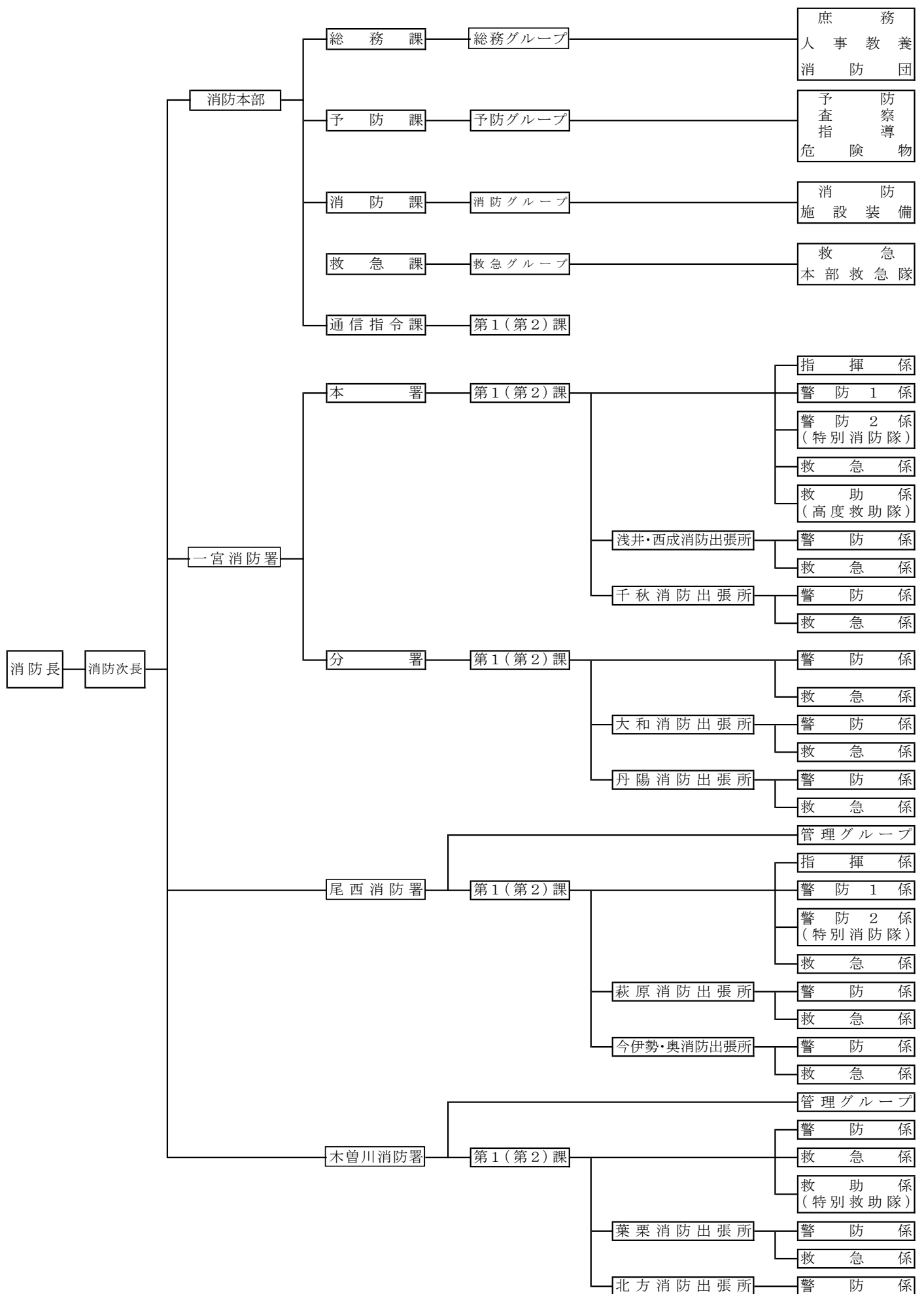
	年別	市 勢		(消(年防千 度予円 算)	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消 防 吏 員	そ の 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曾川町	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375
	平成29年	386,105	156,693	3,716,700	389		4,017	603	375
	平成30年	385,777	158,534	4,263,243	390		4,023	603	375
	令和元年	385,160	160,426	4,049,916	396		4,032	603	375
	令和2年	384,790	162,551	4,080,905	400		4,040	603	376
	令和3年	383,582	164,198	3,979,486	401		4,053	602	381
	令和4年	381,366	164,965	4,104,305	404		4,066	602	383
	令和5年	379,538	166,564	4,052,283	398		4,076	602	384
	令和6年	377,661	168,204	4,280,075	399	1	4,086	602	384
	令和7年	375,827	169,726	5,737,918	404	2	4,097	601	384
	令和8年	374,471	171,572	4,604,289	410	1	4,106	601	384

(備考) 各年4月1日の数値

令和3年から40m³未満の防火水槽も水利数に計上

	年別	火 災				救 急		救 助		消 防 団	
		火災 件数	損害額 (千円)	死 者	負 傷 者	出 動 件 数	搬 送 人 員	出 動 件 数	救 助 人 員	消 防 団 数	団 員 数 (実員)
旧一宮市	平成16年	154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
旧尾西市	平成16年	38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
旧木曾川町	平成16年	12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
一宮市	平成17年	160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
	平成18年	169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
	平成19年	199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
	平成20年	164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
	平成21年	162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
	平成22年	131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
	平成23年	131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
	平成24年	101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
	平成25年	87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
	平成26年	104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
	平成27年	83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
	平成28年	99	55,087	3	16	16,882	15,923	210	113	1	516
	平成29年	80	96,788	2	13	17,381	16,416	229	119	1	516
	平成30年	68	365,878	4	10	18,274	17,262	241	109	1	526
	令和元年	59	196,002	1	8	18,626	17,716	234	112	1	531
	令和2年	57	792,224	2	8	16,361	15,513	178	100	1	527
	令和3年	81	190,252	3	15	17,136	16,257	236	130	1	510
	令和4年	61	169,309	5	18	19,483	18,396	243	105	1	503
	令和5年	71	181,880	2	17	20,694	19,692	232	104	1	493
	令和6年	64	89,951	3	14	20,746	19,664	303	157	1	496
	令和7年	60	125,049	5	13	21,199	20,174	272	124	1	481
	令和8年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	472

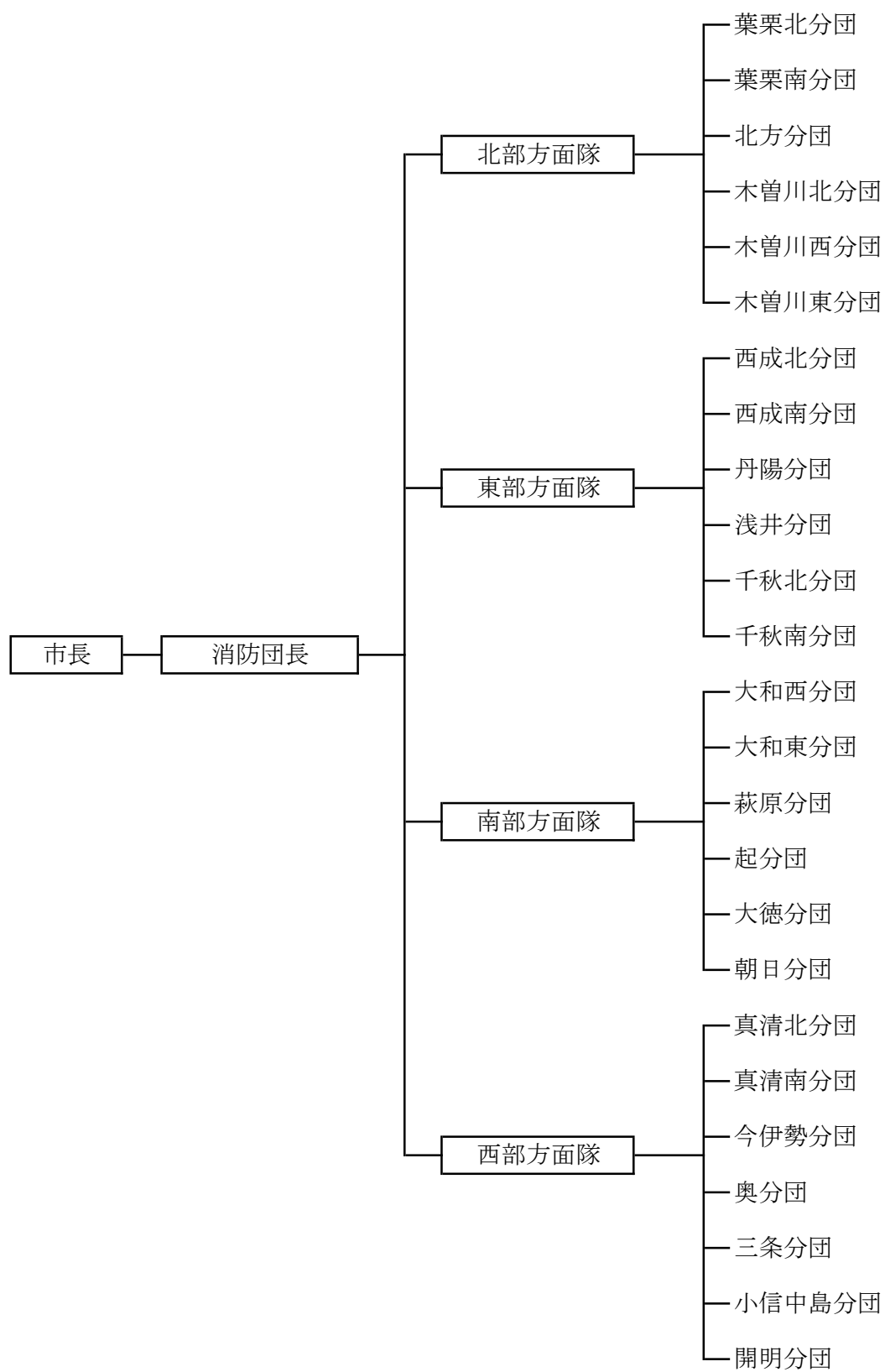
消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部	
総 務 課	○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰、音楽隊、消防職員委員会、福利厚生、広報 ○消防団、水防、儀式
予 防 課	○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理
消 防 課	○消防署における警防及び救助の企画調整、警防及び救急に関する基準、研究及び対策、消防署員の教育及び訓練 ○消防相互応援、施設、水利、車両及び装備の整備、消防計画
救 急 課	○消防署における救急の企画調整、災害の警戒及び防御、救急活動の基準、研究及び対策、救急の統計、消防署員の教育及び訓練、応急手当の普及及び指導
通 信 指 令 課	○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
消 防 署	
管 理 グ ル ー プ (尾 西 消 防 署) (木 曽 川 消 防 署)	○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、所管施設及び車両の修繕
指 揮 係 警 防 1 ・ 2 係	○災害の警戒及び防御、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、消防署の庶務、火災予防条例等の届出
救 急 係 救 助 係	○救急及び救助並びに災害の警戒及び防御、火災予防査察、救助の統計、消防署の設備の管理

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

2026年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	2,667.00	3,419.99	S43.3
消 防 本 部 西 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	191.19	上記に併設	S59.3
消 防 本 部 南 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	134.70	上記に併設	H14.11
浅井・西成消防出張所	浅井町東浅井字新開前27番地	鉄 骨 造 2 階 建	572.45	2,729.25	H29.3
千 秋 消 防 出 張 所	千秋町佐野字加村1番地1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.56	H10.11
消 防 署 整 備 工 場 (防災備蓄倉庫併設)	千秋町佐野字加村1番地1	鉄 骨 造 平 家 建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
八 幡 消 防 分 署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	751.28	H20.9
大 和 消 防 出 張 所	大和町苅安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	347.68	1,421.67	S54.12
丹 陽 消 防 出 張 所	多加木4丁目30番13号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.08	H21.3
尾 西 消 防 署	西五城字中切浦13番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,582.01	H1.11
尾西消防署倉庫	西五城字中切浦13番地1	鉄 骨 造 平 家 建	72.78	上記に併設	H1.10
萩原消防出張所	萩原町串作字水絶15番地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今伊勢・奥消防出張所	今伊勢町馬寄字東瀬古22番地1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木 曽 川 消 防 署	木曽川町黒田字北宿二の切247番地1	鉄筋コンクリート造2階建	1,409.48	5,271.87	S53. 3
葉 栗 消 防 出 張 所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62. 3
葉栗消防出張所倉庫	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄 骨 造 平 家 建	51.84	上記に併設	S62. 3
北 方 消 防 出 張 所	北方町北方字西金丸60番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.55	H3. 3
緑 消 防 倉 庫	緑 1 丁 目 4 番 2 号	鉄 骨 造 2 階 建	333.30	315.04	H8.2

※()内の面積は外数で記載

※延床面積50㎡以上の建物を記載

消防団の庁舎現況

2026年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北部方面隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	519.61	H5. 1
	木曽川北分団	木曽川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.00	H2. 3
	木曽川西分団	木曽川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14. 3
	木曽川東分団	木曽川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.14	H13. 3
東部方面隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6. 3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	376.08	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4. 2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.3
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

2026年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町荻安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	393.86	H3. 3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17. 2
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.52	H16. 3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24. 3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62. 3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58. 3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.00	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	876.03	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.11
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	鉄骨造2階建	116.36	281.64	H31. 2
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

2026年4月1日現在

区 分		名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入年度	経過 年数	ポ ン プ 級別	メーカ
消防本部・一宮消防署本署		本部指令車		一宮800さ1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	11		
		本署指令車		一宮800さ2297	トヨタ 5BF-S403M	R2	5		
		本署指揮車		一宮800さ1851	トヨタ CBF-TRH226S	H29	8		
		本署1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は244	日野 2KG-GX2ABA	R2	5	A2	モリタ
		本署2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は274	日野 2KG-GX2ABA	R3	4	A2	モリタ
		一宮1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は27	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	18	A2	長野ポンプ
		本署はしご車	30m先端屈折はし ご付消防自動車	一宮830す2018	日野 2DG-FR1AJA	H30	7		
		本救 助 工 作 車	3t クレーン 装 備	一宮800は21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	20		
		救 助 資 機 材 搬 送 車	パ ワ ー ゲ ー ト ア ル ミ ボ デ ィ	一宮800さ2283	日野 2KG-XZU775M	R2	5		
		本救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一宮830た138	トヨタ CBF-TRH226S	R1	6		
		一 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一宮830さ2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	11		
		本 広 報 1 号 車		一宮800さ2611	ニッサン 3DF-CN8E26	R4	3		
		本 広 報 2 号 車		一宮800さ2578	ニッサン 3BA-KS6E26	R4	3		
		本 広 報 3 号 車		一宮480う8094	ダイハツ 3BD-S700V	R4	3		
		本 広 報 4 号 車		一宮480う1560	ダイハツ EBD-S321V	H30	7		
		本 広 報 5 号 車		一宮800さ401	ニッサン UA-NE51	H15	22		
		本 広 報 6 号 車		一宮800さ186	ニッサン CBA-NT30	H18	19		
		本 広 報 7 号 車		一宮500に7589	トヨタ 3BA-ZRR80G	R3	4		
		本 広 報 8 号 車		一宮100さ286	トヨタ GE-RZH183K	H14	23		
		本 広 報 9 号 車		一宮500そ6867	ホンダ DBA-GB3	H22	15		
		搬 送 3 号 車	パ ワ ー ゲ ー ト 幌	一宮800さ3061	いすゞ 2PG-NPS88AR	R7			
		支 援 車	20人乗りマイクロバス	一宮800さ1684	ニッサン ABG-DHW41	H28	9		
出張所	浅井・西成	浅井・西成1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は52	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	14	A2	モリタ
		浅井・西成2号車	消防ポンプ自動車	一宮800さ985	日野 SKG-XZU640M	H23	14	A2	モリタ
		浅井・西成救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ1812	トヨタ CBF-TRH226S	H30	7		
	千秋	千秋1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮800は304	日野 2KG-GX2ABA	R4	3	A2	モリタ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	一宮800さ1986	日野 TPG-XZU640M	H30	7	A2	日本機械
		千秋救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2012	トヨタ 3BF-TRH226S	R2	5		

区 分		名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ 級 別 メーカー	
八 幡 消 防 分 署		分 署 指 令 車		一 宮 800 さ 708	ニッサン DBA-NT31	H21	16		
		分 署 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	13	A2	モリタ
		分 救 急 1 号 車	署 高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2401	トヨタ 3BF-TRH226S	R5	2		
		分 広 報 1 号 車	署	一 宮 480 う 3037	スズキ HBD-DA17V	R1	6		
出 張 所	大 和	大 和 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 331	日野 2KG-GX2ABA	R5	2	A2	モリタ
		大 救 急 1 号 車	和 高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2822	トヨタ CBF-TRH226S	H27	10		
	丹 陽	丹 陽 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 45	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	15	A2	モリタ
		丹 救 急 1 号 車	陽 高規格救急自動車	一 宮 830 さ 293	トヨタ CBF-TRH226S	H28	9		
尾 西 消 防 署		尾 西 指 令 車		一 宮 800 さ 2548	トヨタ 5BF-S403M	R4	3		
		尾 西 指 揮 車		一 宮 800 さ 1553	トヨタ CBF-TRH226S	H27	10		
		尾 西 1 号 車	化学消防ポンプ自動車 (水 1,500ℓ、薬液 500ℓ)	一 宮 800 は 245	日野 2KG-GX2ABA	R2	5	A2	モリタ
		尾 西 2 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 147	いすゞ SKG-FSR90S2	H28	9	A2	長野ポンプ
		一 宮 3 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 30	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	17	A2	長野ポンプ
		尾 西 は し ご 車	30m先端屈折はし ご付消防自動車	一 宮 830 す 2019	日野 2DG-FR1AJA	R1	6		
		尾 救 急 1 号 車	西 高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2603	トヨタ 3BF-TRH226S	R7			
		一 救 急 3 号 車	宮 高規格救急自動車	一 宮 830 さ 263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	12		
		尾 広 報 1 号 車	西	一 宮 800 さ 291	ニッサン CBA-MNE51	H17	20		
		尾 広 報 2 号 車	西	一 宮 400 す 5821	トヨタ 5BF-S403M	R4	3		
		尾 広 報 3 号 車	西	一 宮 480 う 3036	スズキ HBD-DA17V	R1	6		
		搬 送 1 号 車		一 宮 800 さ 345	マツダ PB-LKS81AR	H17	20		
出 張 所	萩 原	萩 原 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 830 さ 2506	日野 2KG-GX2ABA	R7		A2	モリタ
		萩 原 2 号 車	消防ポンプ自動車	一 宮 800 さ 2136	日野 2RG-XZU640M	R1	6	A2	日本機械
		萩 救 急 1 号 車	原 高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2501	トヨタ 3BF-TRH226S	R6	1		
	今 伊 勢 ・ 奥	今 伊 勢 ・ 奥 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 77	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	12	A2	モリタ
		今 伊 勢 ・ 奥 2 号 車	消防ポンプ自動車	一 宮 800 さ 724	日野 BDG-XZU334M	H21	16	A2	モリタ
		今 伊 勢 ・ 奥 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2112	トヨタ 3BF-TRH226S	R3	4		

区 分		名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過	ポ ン プ	
							年数	級別	メーカー
木 曽 川 消 防 署		木 曾 川 指 令 車		一 宮 800 さ 424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	20		
		木 曾 川 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	13	A2	モリタ
		一 宮 2 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 32	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	16	A2	モリタ
		木 曾 川 救 助 工 作 車	3t クレーン 装 備	一 宮 800 は 9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	19		
		木 曾 川 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一 宮 830 せ 301	トヨタ CBF-TRH226S	H29	8		
		一 救 急 2 号 車	高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2722	トヨタ CBF-TRH226S	H26	11		
		木 曾 川 広 報 1 号 車		一 宮 480 い 9920	スズキ HBD-DA17V	H29	8		
		木 曾 川 広 報 2 号 車		一 宮 800 さ 2973	トヨタ 3BF-TRH200V	R7			
		水 難 救 助 資 機 材 搬 送 車	パ ワ ー ゲ ー ト ア ル ミ ボ デ ィ	一 宮 800 さ 2651	日野 2KG-FX2ABA	R5	2		
		搬 送 2 号 車	パ ワ ー ゲ ー ト 幌	一 宮 800 さ 335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	20		
出 張 所	葉 栗	葉 栗 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 175	日野 2KG-GX2ABA	H29	8	A2	モリタ
		葉 栗 救 急 1 号 車	高規格救急自動車	一 宮 830 さ 2302	トヨタ 3BF-TRH226S	R4	3		
	北 方	北 方 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一 宮 800 は 302	日野 2KG-GX2ABA	R4	3	A2	モリタ

総数67台(消防本部・一宮消防署36台、尾西消防署18台、木曽川消防署13台)

タンク車	16台(非常用3台含む)	指令車	5台
ポンプ車	4台	指揮車	2台
救急車	14台(非常用3台含む)	広報車	15台
はしご車	2台	支援車	1台
救助工作車	2台	搬送車	3台
化学車	1台	救助資機材搬送車	2台

消防団車両の現勢

2026年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過ポンプ			メーカー
						年数	級別		
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積載車	一宮 831 さ 119	トヨタ 3BF-TRY230	R6	1	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	積載車	一宮 830 り 119	トヨタ 3BF-TRY230	R4	3	B2	シバウラ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮 830 の 119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	15	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積載車	一宮 830 ひ 119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	14	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積載車	一宮 830 は 119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	14	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮 830 ね 119	日野 BDG-XZU304E	H21	16	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積載車	一宮 831 す 119	トヨタ 3BF-TRY230	R6	1	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	積載車	一宮 830 も 119	トヨタ 3BF-TRY230	R4	3	B2	シバウラ
	丹陽分団	丹陽分団車	積載車	一宮 830 ら 119	トヨタ 3BF-TRY230	R4	3	B2	シバウラ
	浅井分団	浅井分団車	積載車	一宮 831 せ 119	トヨタ 3BF-TRY230	R6	1	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積載車	一宮 830 ち 119	ニッサン TC-SH4F23	H19	18	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	積載車	一宮 830 み 119	ニッサン CBF-SQ2F24	R1	6	B2	シバウラ
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積載車	一宮 830 る 119	トヨタ 3BF-TRY230	R5	2	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮 830 め 119	日野 BDG-XZU304E	H21	16	A2	小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	積載車	一宮 830 や 119	トヨタ 3BF-TRY230	R4	3	B2	シバウラ
	起分団	起分団車	積載車	一宮 830 て 119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	17	B2	トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮 830 に 119	日野 BDG-XZU304E	H21	16	A2	小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積載車	一宮 830 ふ 119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	13	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積載車	一宮 830 た 119	ニッサン TC-SH4F23	H19	18	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	積載車	一宮 830 め 119	ニッサン CBF-SQ2F24	R3	4	B2	シバウラ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積載車	一宮 830 ろ 119	トヨタ 3BF-TRY230	R5	2	B2	トーハツ
	奥分団	奥分団車	積載車	一宮 830 ゆ 119	トヨタ 3BF-TRY230	R4	3	B2	シバウラ
	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮 830 と 119	日野 BDG-XZU304E	H20	17	A2	GMいちばら
	小信中島分団	小信中島分団車	積載車	一宮 830 な 119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	16	B2	トーハツ
	開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮 830 ほ 119	日野 TKG-XZU640M	H26	11	A2	長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 6台、積載車 19台)

消防音楽隊のあゆみ

1895 年(明治28年)、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

1904 年(明治37年)には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校(現在の太志小学校)へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、1934 年(昭和9年)には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

1961 年(昭和36年)に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボンを身にまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、1962 年(昭和37年)には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。1976 年(昭和51年)に一宮市音楽隊設置規則を制定、1987 年(昭和62年)には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在、市の行事はもちろん小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約20回の演奏活動を幅広く実施しています。

1980 年(昭和55年)から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。1991 年(平成3年)中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、1993 年(平成5年)は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、1994 年(平成6年)には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。2001 年(平成13年)には、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年学校演奏会を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露
- 平成10年 第10回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
- 平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える

- 平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじぶた」を題材に子供たちの演劇を演奏
- 平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露
- 平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を披露
- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露
- 平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバンドとして出演
- 第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露
- 平成28年 第38回定期演奏会で青島広志氏(作曲家)をゲストに迎え、日本の吹奏楽にスポットをあて、吹奏楽オリジナル作品を披露
- 平成29年 第39回定期演奏会で石川直氏(ルーディメンタルドラマー)をゲストに迎え、打楽器にスポットをあて、打楽器の躍動感やリズムを様々な音楽に乗せて披露
- 平成30年 第40回定期演奏会で林望氏(作家)と矢野きよ実氏(パーソナリティ・書家)をゲストに迎え、イギリス諸国を代表する作曲家の作品を中心に、音楽を時代考証しながら披露
- 令和元年 第41回定期演奏会で立浪一義氏(中日ドラゴンズOB)をゲストに迎え、高校野球の応援歌を中心に演奏を披露
- 令和 2年 第42回定期演奏会で石丸幹二氏(俳優)をゲストに迎え、「ミュージカルの世界」をテーマに演奏を披露
- 令和 3年 第43回定期演奏会で浅田舞氏(プロフィギュアスケーター)をゲストに迎え、「フィギュアスケートの世界へ」をテーマに演奏を披露
- 令和 4年 第44回定期演奏会で「世代を超えて愛される名曲の数々」をテーマに演奏を披露
- 令和 5年 第45回定期演奏会で「様々な名作を名アレンジで」をコンセプトに、吹奏楽の著名なアレンジャーにより編曲された作品を披露
- 令和 6年 第46回定期演奏会で高井一氏を司会者に迎え、「吹奏楽が紡ぐ宇宙と幻想の調べ」をテーマに演奏を披露
- 令和 7年 第47回定期演奏会で高井一氏を司会者に迎え、第1部は吹奏楽の古典的名曲を、第2部では長年にわたり消防音楽隊を支えた隊員たちにスポットライトを当てた楽曲を披露

消防音楽隊の編成

2026年4月1日現在

隊 長		消防長	森島 知信
副 隊 長			福田 良正
常 任 指 揮 者			野津 如弘
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭ クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ティンパニー・パーカッション	4
テナーサキソフォン	1	計	36

消防音楽隊の活動状況

2025年度中

2025年度

区 分	合 計	内 容				
		演 奏				練 習
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	6			1	1	5
5 月	9		6	1	7	2
6 月	5		4		4	1
7 月	1					1
8 月						
9 月	3					3
10 月	4					4
11 月	8	2			2	6
12 月	5			2	2	3
1 月	4	1		1	2	2
2 月	1					1
3 月	4			1	1	3
合 計	50	3	10	6	19	31

総務



当初予算の推移

(単位 千円)

年度 科目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
一般会計		122,160,000	125,810,000	135,540,000	144,310,000	146,740,000
消 防 費		4,104,305	4,052,283	4,280,075	5,737,918	4,604,289
消防費内訳	常備消防費	3,592,218	3,619,961	3,708,552	3,934,691	4,143,175
	非常備消防費	111,962	114,383	112,355	109,963	112,046
	消防施設費	393,770	311,571	452,791	1,686,865	342,102
	水防費	6,355	6,368	6,377	6,399	6,966

決算額と構成の推移

(単位 千円)

年度 科目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会計		158,299,264	141,471,605	139,105,868	134,017,103	143,608,246
消 防 費		3,947,622	3,878,880	4,130,909	4,067,087	4,248,902
消防費内訳	常備消防費	3,610,989	3,565,908	3,574,356	3,607,989	3,756,108
	非常備消防費	87,925	88,896	106,134	107,048	102,980
	消防施設費	242,213	217,717	444,064	345,682	383,437
	水防費	6,495	6,359	6,355	6,368	6,377
消防費の構成比		2.5%	2.7%	3.0%	3.0%	3.0%
人口一人当たりの 消防費(円)		10,259	10,112	10,804	10,715	11,251
1世帯当たりの 消防費(円)		24,285	23,623	25,098	24,418	25,260

消防職員の配置

2026年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
合 計		411	1	2	16	36	208	57	31	59	1
消 防 本 部	消 防 長	1	1								
	消 防 次 長	1		1							
	消 防 次 長 兼 一 宮 消 防 署 長	1		1							
	課 長	1			1						
	専 任 課 長	1				1					
	総 務 課 付	7					3	4			
	庶 務 担 当	3					2	1			
	人 事 教 養 担 当	3					2	1			
	消 防 団 担 当	5					3	1			1
	課 長	1			1						
	専 任 課 長	1				1					
	予 防 担 当	3					2	1			
	指 導 担 当	3					2	1			
	危 険 物 担 当	3					2		1		
	査 察 担 当	3					2	1			
	課 長	1			1						
	専 任 課 長	1				1					
	消 防 担 当	3					2	1			
	施 設 装 備 担 当	3					2	1			
	課 長	1			1						
	専 任 課 長	1				1					
	救 急 担 当	4					3	1			
	本 部 救 急 隊	4					3		1		
	課 長	1			1						
	専 任 課 長	4				4					
	指 導 課 長 補 佐	2					2				
	第 1 課	7					5	1	1		
	第 2 課	7					5	2			
一 宮 消 防 本 署	消 防 1 課 長	2			2						
	消 防 2 課 長	2			2						
	担 当 司 令	2				2					
	救 助 担 当 司 令	2				2					
	指 揮 係	8					6	2			
	警 防 1 係	14					6	1		7	
	警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)	10					6	2	1	1	
	救 助 係 (高 度 救 助 隊)	12					6		5	1	
	救 急 係	12					6	2	2	2	
	担 当 司 令	2				2					
	浅井・西成消防出張所 警防係	8					6			2	
	浅井・西成消防出張所 救急係	10					4	3		3	
千 秋 消 防 本 署	担 当 司 令	2				2					
	千 秋 消 防 出 張 所 警 防 係	8					4	1		3	
千 秋 消 防 本 署	千 秋 消 防 出 張 所 救 急 係	10					5	1	2	2	

2026年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
一宮消防署	分署第1(第2)課	分署長	1			1						
		担当司令	2				2					
		警防係	12					6	3	1	2	
		救急係	12					6	3	2	1	
		担当司令	2				2					
		大和消防出張所 警防係	8					6			2	
		大和消防出張所 救急係	10					4	2		4	
		担当司令	2				2					
		丹陽消防出張所 警防係	8					6		1	1	
		丹陽消防出張所 救急係	10					6	2		2	
尾西消防署第1(第2)課	萩原今伊勢・奥	署長	1			1						
		管理グループ	3					2	1			
		消防1課長	2			2						
		消防2課長	2			2						
		担当司令	2				2					
		指揮係	8					6	2			
		警防1係	13					5	1	1	6	
		警防2係(特別消防隊)	10					6	3	1		
		救急係	10					5	2	1	2	
		担当司令	2				2					
		萩原消防出張所 警防係	8					6			2	
		萩原消防出張所 救急係	10					5	2	3		
		担当司令	2				2					
		今伊勢・奥消防出張所 警防係	8					6			2	
		今伊勢・奥消防出張所 救急係	10					6	1	1	2	
木曽川消防署第1(第2)課	葉栗北方	署長	1			1						
		管理グループ	3					3				
		担当司令	2				2					
		救助担当司令	2				2					
		警防係	13					7	1		5	
		救助係(特別救助隊)	12					6	1	3	2	
		救急係	10					6	1	2	1	
		担当司令	2				2					
		葉栗消防出張所 警防係	8					6			2	
		葉栗消防出張所 救急係	10					4	3	2	1	
北方		担当司令	2				2					
		北方消防出張所 警防係	8					6	1		1	

※再任用短時間勤務職員(消防士長)6名を除く

消防職員の年齢

2026年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
合 計	411	1	2	16	36	208	57	31	59	1
18歳から19歳	3								3	
20歳以上24歳以下	41								41	
25歳以上29歳以下	38							22	15	1
30歳以上34歳以下	31						23	8		
35歳以上39歳以下	44					17	26	1		
40歳以上44歳以下	74					66	8			
45歳以上49歳以下	81				4	77				
50歳以上54歳以下	72			5	27	40				
55歳以上59歳以下	25	1	2	11	5	6				
60歳以上	2					2				
平均年齢	40.8	57.0	55.5	55.6	51.8	45.8	35.5	28.6	23.3	29.0

※再任用短時間勤務職員(消防士長)6名を除く

消防職員の勤続年数

2026年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
合 計	411	1	2	16	36	208	57	31	59	1
1年未満から5年	61							10	51	
6年から10年	42						12	21	8	1
11年から15年	39						39	0		
16年から20年	71					65	6			
21年から25年	65				1	64				
26年から30年	55			3	16	36				
31年から35年	54	1	1	5	14	33				
36年以上	24		1	8	5	10				
平均年数	19.5	35.0	33.5	35.1	31.2	24.5	13.0	6.5	2.9	7.0

※再任用短時間勤務職員(消防士長)6名を除く

消防職員資格等保有状況

2026年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
救 急 救 命 士			101			4	6	54	19	7	11
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士		86			4	4	49	19	6	4
		気 管 挿 管 救 急 救 命 士	20				1	18	1		
救 急 Ⅱ 課 程 ・ 救 急 標 準 課 程 修 了 者			294	1	2	12	30	153	40	23	33
大 型 一 種 自 動 車 免 許			330	1	2	16	33	200	45	22	11
中 型 一 種 自 動 車 免 許			52				1	11	21	14	5
自 動 車 士 免 許	ディーゼル	2 級	1						1		
		3 級	2				1	1			
	ガソリン	2 級	3				2		1		
		3 級	4				1	3			
	シ ャ シ	3 級	4				1	3			
危 険 物 取 扱 免 状	甲 種		3				1	2			
	乙 種	第 4 類	62			2	7	37	12		4
		第 6 類	15			1	2	11	1		
	丙 種		15				4	9		1	1
陸上特殊無線技士		第 2 級	287			3	10	142	57	31	44
		第 3 級	89	1	2	8	23	55			
消 防 設 備 士 免 状		甲 種	2				1	1			
		乙 種	17				3	10	4		
1 ・ 2 級 小 型 船 舶 操 縦 免 許			113			2	16	71	15	8	1
ガ ス 溶 接 技 能 講 習			16				2	13			1
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 能 講 習			19				4	13	2		
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 免 状			3				2	1			
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許			18	1		2	6	9			
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習			3				1	2			
足 場 の 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習			46		1	8	11	26			
小 型 移 動 式 ク レ ーン 運 転 技 能 講 習			151			7	11	105	16	9	3
玉 掛 け 技 能 講 習			313			2	17	167	57	27	43
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習			34			9	12	12	1		
潜 水 士 免 許			100		1	2	12	64	11	8	2
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)			20		1	3	3	11	2		
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 設 備 等 専 門 員)			14		2	1	2	9			
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)			10		1	1	4	4			
接 遇 研 修 指 導 者			4				2	2			
J K E T 研 修 指 導 者			2			2					

消防職員教育研修状況

2025年度中

科	目	回数	受講者	日数	科	目	回数	受講者	日数
○派遣教育					○その他の教養				
消防大学校					安全運転管理者講習会		1	4	1
幹部科(第81期)		1	1	45	副安全運転管理者講習会		1	1	1
救助科(第90期)		1	1	52	整備主任者技術研修会		1	1	1
県消防学校					整備主任者法令研修会		1	1	1
初任科(第120期)		1	5	169	危険物取扱者保安講習会		1	1	1
初任科(第121期)		1	3	177	消防職員安全衛生研修会		1	2	1
救急科(第140期)		1	4	52	全国救急隊員シンポジウム				
救急科(第142期)		1	3	53	全国救助シンポジウム				
上級幹部科(第74期)		1	4	3	通信指令シンポジウム				
火災調査科(第69期)		1	1	12	防災情報通信セミナー				
救助科(第55期)		1	2	29	愛知県下高速道路連絡協議会講演会				
はしご自動車等運用科(第42期)		1	2	3	愛知県下高速道路連絡協議会視察研修				
地震防災科					危険物特別講演会		1	2	1
警防科(第74期)		1	3	16	火災調査研究発表会		1	4	1
指揮隊科(第14期)		1	4	8	技術講習会(消防関係等法令改正)		1	1	1
救急救命士養成					全国消防長会東海支部違反是正事例発表会		1	3	1
名古屋市救急救命研修所(8/18～3/10)		1	1	205	調査技術会議		1	4	1
大阪市消防局高度専門教育訓練センター					火災科学セミナー		1	1	1
救急救命士関係					外傷・災害対応講習(Aコース)		1	8	1
愛知県救急隊心配蘇生法プロトコル運用教育		1	4	2	外傷・災害対応講習(Bコース)				
薬剤投与プロトコル運用試験		1	4	1	○資格取得・技能講習				
救急業務教育指導者試験					酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習		1	2	3
救急業務教育指導者講習		2	2	4	有機溶剤作業主任者技能講習		1	1	2
検証担当官講習		2	6	2	小型移動式クレーン運転技能講習		1	4	3
検証管理者講習					2級小型船舶操縦士試験		1	2	1
愛知県新規指導救命士に対する研		1	1	1	潜水士免許試験		1	2	1
日本救急医学会中部地方会					予防技術検定		1	2	1
日本災害医学会学術集会					テールゲートリフターの操作の業務特別教育		1	1	1
指導救命士養成研修		1	1	44	アーク溶接等の業務特別教育		1	1	3
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修					研削といしの取替え等の業務特別教育		1	1	1
気管挿管プロトコル運用試験		1	1	1	巻上げ機の運転業務(ウインチ)特別教育		1	1	2
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた 気管挿管プロトコル運用試験		1	1	1	伐木等の業務(チェンソー)特別教育		1	1	3
処置範囲拡大救急救命士運用試験		1	5	1	○本部教養・所属教養				
					消防大学校伝達教養		3	183	3
					一般教養		2	130	2

災害防止

1990年(平成2年)9月労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

2026年4月1日現在

区 分	総 括 安全衛生 管 理 者	副安全衛 生管理者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	2	2	6	2	12

安全管理

最近の公務災害は、3年間で8件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	8	2	2	1	0	3
令和5年中	3	1	2			
令和6年中	4	1		1		2
令和7年中	1					1

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長又は消防長感謝状として贈るものです。

2025年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	6			6	
表彰人員	12			12	

施設・装備充実事業

《尾西救急1号車 更新》

高規格救急自動車

- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《搬送3号車 更新》

- 大規模災害時に緊急消防援助隊として出動する車両



《一宮市・稲沢市消防指令センター 更新》

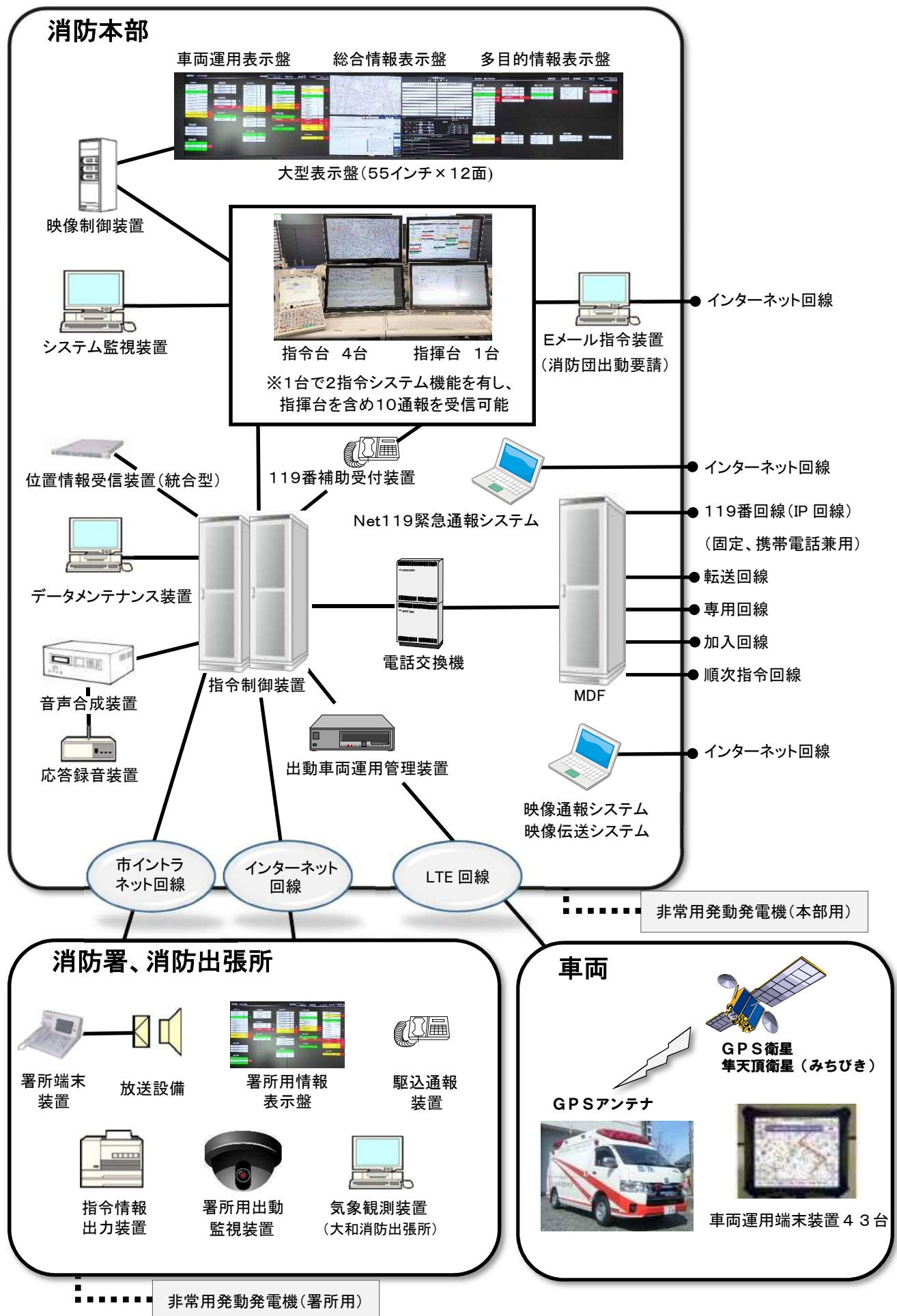
- 消防緊急通信指令システム全面更新、消防救急デジタル無線設備更新



通信・気象



指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz 帯)

2026 年 4 月 1 日現在

種別		出力	実装チャンネル数	局数	
基地局		1 0 W	統制波 3 主運用波 1	1	
		2 0 W	活動波 6		
移動局	車載型	1 0 W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	6 1	1 4 1
	携帯型	5 W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	7 5	
	可搬型	1 0 W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4	
	卓上型	1 0 W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1	

署活動系無線(400MHz 帯)

種別		出力	実装チャンネル数	局数	
携帯型		1 W	署活動波 2 防災相互波 1	2 6	
			署活動波 1 9 防災相互波 1	4	

特定小電力ランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	0. 0 1 W	2 0	1 5 6

指令回線等一覧表

指令システム

2026年4月1日現在

項目	名 称	回線数	内 訳
1	119番回線 (IP回線) (固定、携帯電話兼用)	2	・12ch (故障監視含む)
2	指令回線	12	・署所端末装置指令回線:12 (一宮消防署本署 尾西消防署 浅井・西成消防出張所 萩原消防出張所 千秋消防出張所 今伊勢・奥消防出張所 一宮消防署分署 木曽川消防署 大和消防出張所 葉栗消防出張所 丹陽消防出張所 北方消防出張所)
3	内線回線	6	・PBX内線収容
4	専用回線	4	・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路
5	転送回線 (IP回線)	1	・4ch
6	加入電話 (IP回線)	1	・4ch
7	庁内放送回線	1	・庁内放送用
8	音声合成回線	21	・指令用、無線用 (兼用):12 ・順次指令用:8 ・災害テレホンサービス用:1

電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線 (アナログ)	5	・障害時用:1 ・119番迂回用:1 ・FAX兼119番迂回用:1 ・FAX用:2
2	携帯電話	50	・救急隊:14、指揮隊:4、警防隊:20、救助隊:3 通信指令課:9 (衛星携帯電話6を含む)
3	加入回線 (NTTひかり)	1	・27ch、31番号

月別119番受信状況

2025年中(単位 件)

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	26,544	2,526	2,079	2,348	2,022	2,001	2,113	2,346	2,295	2,084	2,063	2,279	2,388
火 災	220	45	12	35	19	9	20	13	13	10	7	10	27
救 急	19,861	1,993	1,654	1,706	1,473	1,483	1,540	1,778	1,773	1,527	1,518	1,685	1,731
救 助	183	11	13	16	5	11	17	25	21	16	7	18	23
そ の 他 の 害 災	65	5	6	5	5	3	8	5	1	6	4	6	11
いた ず ら	95	1	2	14	13	12	6	3	11	9	6	10	8
間 違 い	2,916	209	168	267	252	222	239	248	276	257	252	249	277
問 合 せ	796	76	61	63	57	48	68	99	65	52	59	75	73
病 問 院 合 せ	214	31	12	16	13	15	18	18	17	15	13	26	20
訓 練 通 報	633	34	36	68	69	75	64	27	23	55	68	74	40
試 験 通 報	1,103	87	82	117	80	88	95	83	58	109	92	83	129
そ の 他	82	5	7	6	9	7	7	13	10	5	7	3	3
転 送	376	29	26	35	27	28	31	34	27	23	30	40	46

携帯電話からの月別119番受信状況

2025年中(単位 件)

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	15,548	1,451	1,189	1,322	1,167	1,176	1,254	1,413	1,411	1,227	1,166	1,329	1,443
火 災	164	37	9	28	13	5	18	7	11	8	2	7	19
救 急	11,698	1,121	908	957	867	886	928	1,066	1,071	951	885	1,003	1,055
救 助	160	7	11	13	4	8	15	24	19	15	6	18	20
そ の 他 の 災 害	56	4	6	4	5	3	7	5	1	4	3	3	11
いた ず ら	24	1	1	6	2	6		1	1			1	5
間 違 い	2,086	160	137	188	182	171	167	168	208	161	171	167	206
問 合 せ	598	55	54	48	39	32	48	74	51	40	40	58	59
病 問 合 院 せ	148	24	10	14	9	12	11	14	11	10	9	9	15
訓 練 通 報	146	9	11	18	12	17	18	8	4	11	13	20	5
試 験 通 報	50	1	10	7	3	6	8	4	3	1	2	3	2
そ の 他	60	5	6	5	6	5	4	10	6	4	6	2	1
転 送	358	27	26	34	25	25	30	32	25	22	29	38	45

月別気象状況

2025年中

区 分	気温(℃)			風速(m/s)		相対湿度(%)		実効湿度(%)	降水量 (mm)
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	平均	
1月	-2.3	13.9	5.0	15.3	1.4	24.7	65.9	66.5	22.0
2月	-3.7	14.8	4.2	24.0	1.8	25.0	67.1	67.2	15.0
3月	0.5	23.8	9.9	18.6	1.7	11.9	64.2	64.4	87.0
4月	4.1	29.4	15.3	14.6	1.9	16.1	64.2	64.1	151.0
5月	8.8	32.1	19.6	14.9	1.7	20.2	69.7	68.1	234.5
6月	13.8	38.9	24.9	15.4	1.3	22.7	74.2	74.1	318.0
7月	22.9	40.0	30.0	15.5	1.6	33.6	71.0	71.2	195.0
8月	23.1	39.4	30.5	11.7	1.2	29.4	69.8	69.7	94.5
9月	17.1	37.9	27.1	15.3	1.1	26.9	73.7	73.1	184.0
10月	7.3	31.1	19.5	13.3	1.0	30.2	78.2	77.9	127.0
11月	2.3	22.6	12.0	17.9	1.0	27.2	70.7	70.6	26.5
12月	-1.1	19.5	7.6	14.8	1.1	33.8	73.3	73.1	64.5
年 間	-3.7	40.0	17.1	24.0	1.4	25.1	70.2	70.0	1,519.0

(観測地: 大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

発表官署 名古屋地方気象台 2025年5月29日現在

警報の種類		基 準	
大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準	23
	(土砂災害)	土壌雨量指数基準	一
洪水		流域雨量指数基準	五条川流域＝19.7、青木川流域＝11、大江用水流域＝10 光堂川流域＝6.2、野府川流域＝6.1
		複合基準※1	五条川流域＝(10,19.3)、青木川流域＝(16,7.6)、大江用水流域＝(20,5.7) 野府川流域＝(10,5.4)、日光川流域＝(22,14.4)
		指定河川洪水予報 による基準	木曽川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱・古瀬〕
暴風		平均風速	20m/s
暴風雪		平均風速	20m/s 雪を伴う
大雪		降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm
波浪		有義波高	
高潮		潮位	※2
注意報の種類		基 準	
大雨		表面雨量指数基準	13
		土壌雨量指数基準	130
洪水		流域雨量指数基準	五条川流域＝12.8、青木川流域＝6、大江用水流域＝8 光堂川流域＝4.9、野府川流域＝4.8
		複合基準※1	五条川流域＝(10,12.5)、青木川流域＝(10,5.6)、大江用水流域＝(6,5.1) 光堂川流域＝(8,2.9)、野府川流域＝(6,3.6)、木曽川流域＝(6,85.7)、日光川流域＝(8,9)
		指定河川洪水予報 による基準	木曽川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱〕
強風		平均風速	13m/s
風雪		平均風速	13m/s 雪を伴う
大雪		降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm
波浪		有義波高	
高潮		潮位	
雷		落雷等により被害が予想される場合	
融雪			
濃霧		視程	100m
乾燥		最小湿度30%で、実効湿度60%	
なだれ			
低温		冬期:最低気温-4℃以下	
霜		晩霜期に最低気温3℃以下	
着氷・着雪		著しい着氷(着雪)が予想される場合	
記録的短時間大雨情報		1時間雨量	100mm

※1(表面雨量指数、流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表しています。
※2愛知県が定める基準水位観測所(天白川河口)における高潮特別警戒水位(2.3m)への
潮位の到達状況を考慮して、これらによらず高潮警報を発表する場合があります。

消防団



消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災を機に、大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても、2012年(平成24年)4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

2025年(令和7年)度中における主な活動は、火災出動延べ149回、771人、訓練出動延べ2,057回、14,378人でその他、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

2026年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団（支 援 団 員）
1	25	605(100)	472(40)	1	4	25	25	25	25	367(40)

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

2025年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 捜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	2,548	149	2,057	54	122			166
延 出 動 人 員	17,321	771	14,378	576	1,253			343

団員報酬額

年額報酬 2026年4月1日現在

階 級	基 本 団 員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金額(円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

出動報酬 2026年4月1日現在

出動区分	災 害 出 動		訓 練 等 出 動	観 閲 出 動	出 初 め 出 動	警 戒 出 動	年 末 警 戒 出 動	機 械 点 検 出 動
	4時間までの出動	4時間を超える出動						
金額(円)	4,000	8時間までごとに8,000	1,700	2,600	2,600	2,200	2,600	2,000

費用弁償

2026年4月1日現在

出動区分	災害出動 出 動	訓 練 等 出 動	観 閲 出 動	出 初 め 出 動	警 戒 出 動	年 末 警 戒 出 動	機 械 点 検 出 動
金額(円)	各200						

消防団員の退職状況

2025年度中(単位 人)

合 計	5年 未 満	5年以上 10年未 満	10年以上 15年未 満	15年以上 20年未 満	20年以上 25年未 満	25年以上 30年未 満	30年 以 上
36	12	4	4	2	1	2	11

消防団員の新任状況

2025年度中(単位 人)

合 計	21歳 未 満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以 上
19	5	5	3		4	1		1

消防団員の勤続年数

2026年4月1日現在(単位 人)

合 計	5年 未 満	5年以上 10年未 満	10年以上 15年未 満	15年以上 20年未 満	20年以上 25年未 満	25年以上 30年未 満	30年 以 上
472	97	72	61	72	59	54	57

消防団員の職業構成と就業形態

2026年4月1日現在(単位 人)

職 業 構 成	公 務 員 等	国 家 公 務 員	
		地 方 公 務 員	13
		特 殊 法 人 等 公 務 員 に 準 ず る 職 員	9
	そ		

消防団員の年齢

2026年4月1日現在(単位 人)

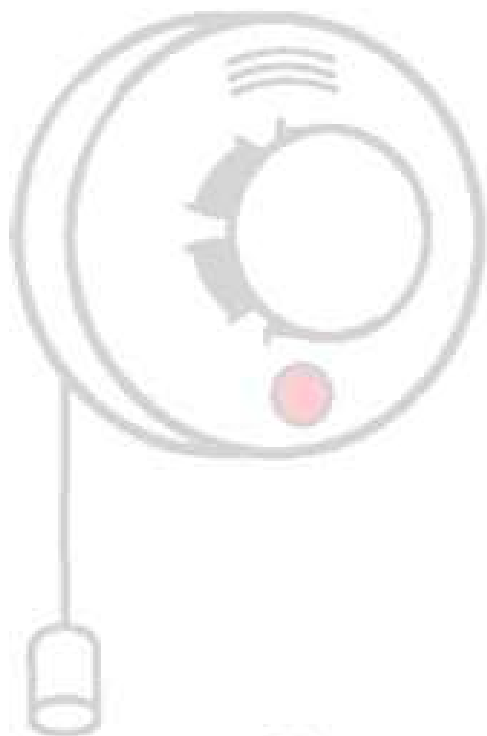
区分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 (支 援 団 員 含 む)
合計	472	1	4	25	25	25	25	367
18歳	1							1
19歳	1							1
20歳	6							6
21歳	4							4
22歳	3							3
23歳	2							2
24歳	3							3
25歳	5							5
26歳	3							3
27歳	6						1	5
28歳	1							1
29歳	1							1
30歳	2							2
31歳	2							2
32歳	3						1	2
33歳	3							3
34歳	8						1	7
35歳	4							4
36歳	3					1		2
37歳	9					1	2	6
38歳	6							6
39歳	7			1		1		5
40歳	6							6
41歳	8				1	1		6

消防団員の年齢

2026年4月1日現在(単位 人)

区分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 (支 援 団 員 含 む)
42歳	6					1		5
43歳	7						2	5
44歳	8							8
45歳	20				2	4		14
46歳	9			1	1	2		5
47歳	5				1			4
48歳	17				4	1	1	11
49歳	22				1	3	3	15
50歳	18				1		3	14
51歳	15			3	1	1		10
52歳	18				1		1	16
53歳	19			2	1		1	15
54歳	21			3	1	4	2	11
55歳	19			2	1	1	1	14
56歳	10				1	1	1	7
57歳	13		1	1			1	10
58歳	20		1	2		1		16
59歳	13			1	2			10
60歳	12		1		2	1	1	7
61歳	11							11
62歳	13			3				10
63歳	5			1				4
64歳	14			2		1		11
65歳以上	60	1	1	3	4		3	48

平均年齢	51.0
------	------



予 防



火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)

2025年度中 (下段:参加人員)

区 分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 修 会 講 演 会
合 計	15	1,412 51,036	7 272
4 月	1	89 3,316	
5 月		165 4,814	
6 月	1	109 3,330	1 21
7 月	3	63 1,475	
8 月	1	50 1,378	1 39
9 月	1	172 8,476	2 51
10 月	1	175 5,602	1 13
11 月	3	175 7,973	1 120
12 月	1	94 3,776	
1 月	1	67 3,017	1 28
2 月	1	72 2,059	
3 月	1	181 5,820	

幼年・少年・女性消防クラブの現況

2026年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		女 性 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
1	7,274	1	6,252	5	182

※幼年及び少年消防クラブについては、2026年度から市全体を1クラブとしております。

街頭消火器設置状況

2026年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	297	今 伊 勢 町	573
貴 船	270	奥 町	338
神 山	394	萩 原 町	493
大 志	218	千 秋 町	447
向 山	252	起	105
富 士	271	小 信 中 島	236
葉 栗	409	三 条	282
西 成	780	大 徳	260
丹 陽 町	597	朝 日	381
浅 井 町	498	開 明	217
北 方 町	240	木 曽 川 町	852
大 和 町	872	合 計	9,282



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)

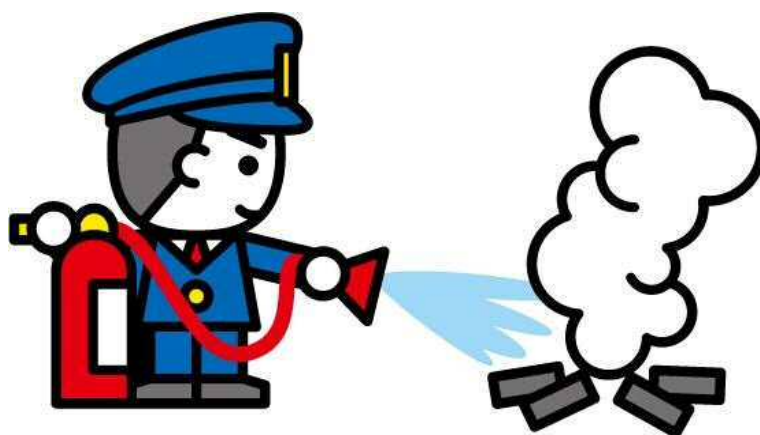


3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

2025年度中

区 分	合 計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	4	4	3	3			1	1
4 月								
5 月								
6 月								
7 月								
8 月	1	1					1	1
9 月								
10 月								
11 月								
12 月	1	1	1	1				
1 月								
2 月	1	1	1	1				
3 月	1	1	1	1				



査察対象物数

2026年4月1日現在

防火対象物			査察種別	1 種	2 種	3 種	合 計	特 定 防 火 対 象 物	非特定防火対象物
合 計				1,441	1,884	1,997	5,322	2,407	2,915
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等		5			5	5	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場		87		92	179	179	
2	イ	キャバレー・カフェー等		2		3	5	5	
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル		16		2	18	18	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等		1		8	9	9	
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		9			9	9	
3	イ	待 合 ・ 料 理 店		3			3	3	
	ロ	飲 食 店		60		265	325	325	
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト		234		276	510	510	
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル		21			21	21	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅			879	420	1,299		1,299
6	イ	病 院 ・ 診 療 所		101		87	188	188	
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等		217			217	217	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等		191		155	346	346	
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等		23		1	24	24	
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等		16	63	8	87		87
8		図 書 館 等			6		6		6
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場							
	ロ	公 衆 浴 場			4		4		4
10		車両停車場・船舶・航空機発着場							
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会			10	48	58		58
12	イ	工 場 ・ 作 業 場		36	439	49	524		524
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場		5	8		13		13
14		倉 庫		60	241	33	334		334
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等		14	169	239	422		422
16	イ	特定複合用途防火対象物		337		211	548	548	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物		3	63	100	166		166
17		文 化 財 建 造 物			2		2		2
18		ア ー ケ ー ド							

備考

- 1種: 定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種: 消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種: 消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

各種届出件数

2025年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	611	88	49	99	78	44	41	38	33	36	31	27	47
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	699	118	61	112	94	50	40	43	40	38	28	26	49
全体についての消防計画作成(変更)届	3				1	1				1			
統括防火・防災管理者選任(解任)届	3				1	1				1			
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	133	7	7	9	14	8	12	20	11	13	8	15	9
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	7	3	2		1		1						
管 理 権 原 者 変 更 届													
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	3	1						1	1				
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	26	1			4	1	1	5	3	1	4	4	2
変 電 設 備 設 置 届	46	4	3	4	5	3	4	5	5	4	2	5	2
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	15	2		2	1	1	2	1	2	2			2
蓄 電 池 設 備 設 置 届	5								4			1	
急 速 充 電 設 備 設 置 届	2							1		1			
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届													
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	237	8	5	8	10	7	1	18	50	104	18	5	3
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	2		1	1									
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	21	3	2	2	2	1	1	2	2	1	4	1	
催 物 開 催 届	5			1		2	1		1				
水 道 断 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	2,777	189	198	205	233	205	259	261	255	265	206	220	281
露 店 等 の 開 設 届	144	12	12	14	16	23	14	22	9	4	6	6	6
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届	85	13	9	4	10	4	7	8	11	3	2	7	7
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	17	2	2			1	2	1	2	3	1	1	2
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	10	3		1						2	1	1	2
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	13				1	1	3	1	1		4	1	1
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	3					2				1			
消 防 用 設 備 等 設 置 届	337	27	29	24	23	22	35	28	24	23	34	33	35
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	4,363	381	362	356	298	273	586	377	272	353	240	371	494
消 防 用 設 備 等 着 工 届	259	41	19	25	20	17	28	23	9	19	22	22	14
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	131	18	14	8	14	5	16	7	4	10	11	14	10
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願	8	1	1				3			1	1		1
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	145	13	10	17	16	13	7	17	14	5	10	9	14
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	116	46	10	4	3	3		3	5	7	1	1	33
指 定 洞 道 等 届													
消 防 訓 練 実 施 届	1,492	135	174	96	72	91	192	184	137	81	66	101	163
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	148	39	18	14	16	9	25	9	7	5	3		3

用途別同意建築物数

2025年度中

防 火 対 象 物			合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			466	32	65	50	38	36	41	33	26	26	39	39	41
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等													
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1									1			
2	イ	キャバレー・カフェー等													
	ロ	遊 技 場 ・ ダンスホール	3							1			1	1	
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待 合 ・ 料 理 店													
	ロ	飲 食 店	4				1					1	1		1
4		百 貨 店 ・ マーケット	12			2	1	1	4			1	1		2
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル													
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	39	1	2	7	2	4	2	4	3	1	3	4	6
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	7		1		1		2		2	1			
	ロ	特 定 社 会 福 祉 施 設 等	8			1		2	1	1			2	1	
	ハ	社会福祉施設・保育園等	8	2		2			1					3	
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校													
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等													
8		図 書 館 等													
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場													
	ロ	公 衆 浴 場	2				1								1
10		車 両 の 停 車 場 等													
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1											1	
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	17	2	1	1	3	1	4	1				3	1
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	21	1	1		1	4	1	1	2	5	4	1	
14		倉 庫	39	4	3	3	3	1	2	4		1	9	3	6
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等	77	5	34	4	6	1	3	4	3	1	5	6	5
16	イ	特定複合用途防火対象物	4		1				1	1			1		
	ロ	特 定 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物													
専 用 住 宅			223	17	22	30	19	22	20	16	16	14	12	16	19

危険物施設数

2026年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所									取扱所			
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
合計	399	3	246	53	35	22	79		53	4	150	109	37	40	1
宮西	9		4	2			2				5	2		2	1
貴船	6		3				2		1		3	3	2		
神山	18		16	1	3	1	2		9		2			2	
大志	3		2				2				1			1	
向山	13		9	1			3		4	1	4	3	1	1	
富士	8		3	1			2				5	3	1	2	
葉栗	9		4				3			1	5	5	2		
西成	52		40	2	8		5		25		12	11	4	1	
丹陽町	33		20	7	1		7		5		13	11	5	2	
浅井町	13		8	1	1	2	4				5	3	2	2	
北方町	20	3	12	1	3		7			1	5	2		3	
大和町	25		10	2			7			1	15	12	5	3	
今伊勢町	9		7	3	1	2	1				2	1	1	1	
奥町	12		9	2		4	3				3	2	1	1	
萩原町	32		14	5	1	1	3		4		18	15	1	3	
千秋町	16		6	1		2	3				10	10	3		
起															
小信中島	4		3	1	1	1					1	1	1		
三条	9		3	1			2				6	5	3	1	
大徳	5		5			1	3		1						
朝日	54		39	15	10	3	9		2		15	4		11	
開明	19		14	4		3	7				5	2	1	3	
木曾川町	30		15	3	6	2	2		2		15	14	4	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

2026年4月1日現在

区 分			合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					
					小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
許 可 施 設 数			399	3	246	53	35	22	79		53	4	150	109	37	40	1
倍 数 別	5倍以下		131		115	24	8	14	36		32	1	16			15	1
	5倍を超え 10倍以下		78	1	56	16	10	8	18		1	3	21	6		15	
	10倍を超え 50倍以下		100	1	47	12	15		18		2		52	44		8	
	50倍を超え 100倍以下		28	1	25	1	1		5		18		2	1		1	
	100倍を超え 150倍以下		4		1				1				3	3			
	150倍を超え 200倍以下		13		1		1						12	12	1		
	200倍を超え 1,000倍以下		45		1				1				44	43	36	1	
	1,000を超え 5,000倍以下																
	5,000倍を超え 10,000倍以下																
	10,000倍を超えるもの																
類 別	単 独	第 1 類															
		第 2 類															
		第 3 類															
		第 4 類	397	3	244	51	35	22	79		53	4	150	109	37	40	1
		第 5 類	1		1	1											
		第 6 類															
	混 在		1		1	1											

危険物施設の設置・変更許可等

2025年度中

区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所		一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
													セ ル フ 給 油 取 扱 所			
許 可	設 置	9		7	3			2		2		2			2	
	変 更	60		10						10		50	16	10	34	
仮 使 用 承 認		50		0								50	16	10	34	
完 成 検 査	設 置	7		4				2		2		3			3	
	変 更	56		8						8		48	16	10	32	
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認		0														

タンク検査状況

2025年度中

検 査 区 分	容 量	件 数	小 計	合 計
水 張 検 査	1万リットル以下のタンク	4	4	4
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水 圧 検 査	1万リットル以下のタンク			
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

2025年度中

合 計	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 認 可 申 請	譲 渡 引 渡 届	品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届	廃 止 届	変 更 届	事 故 発 生 届	休 止 ・ 再 開 届	許 可 書 等 再 交 付 申 請	設 置 ・ 変 更 取 り や め 届	設 置 ・ 変 更 許 可 申 請 取 下 書	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届	資 料 提 出 書	火 気 使 用 届	軽 微 工 事 届	地 下 貯 蔵 タ ン ク 等 に 関 す る 計 画 届
200	5	4	4	12	31	7	3	2		1	27	30	2	72	

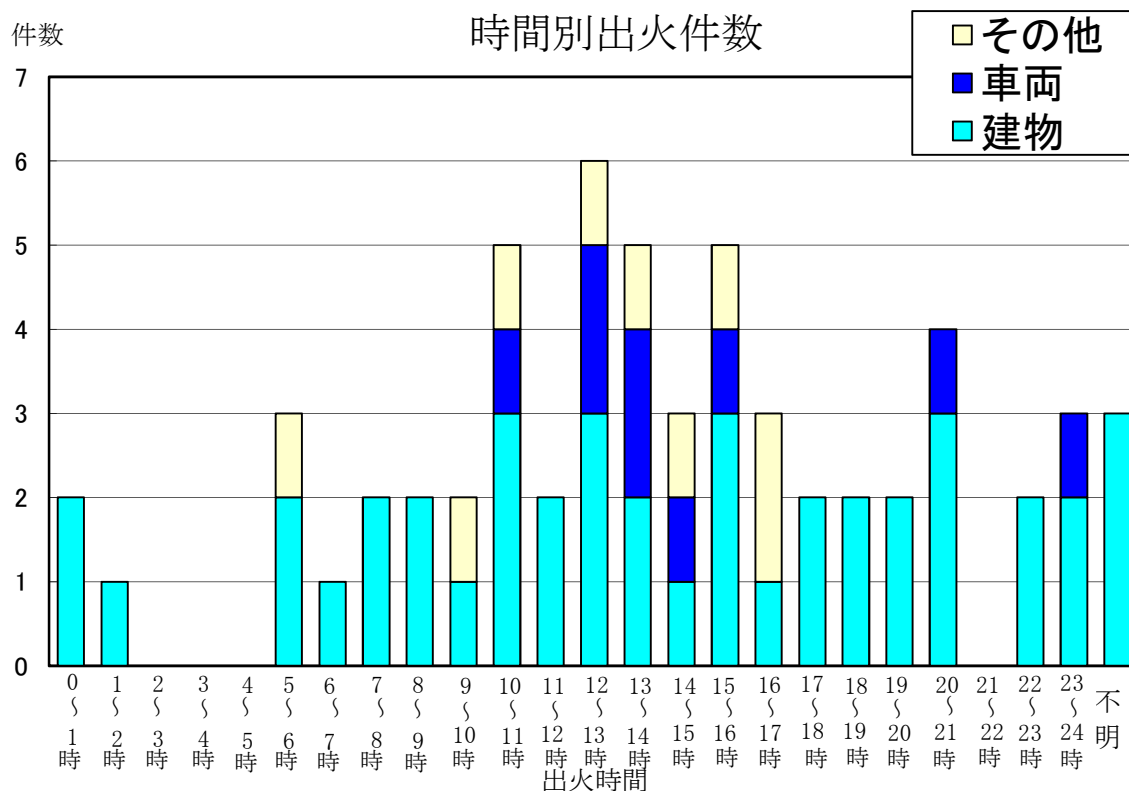
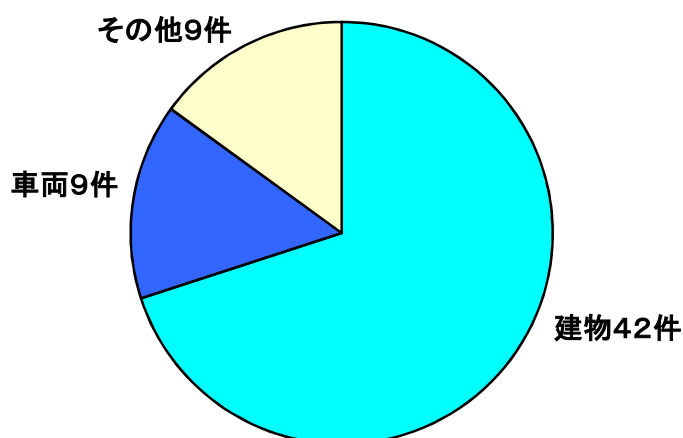
火災



火災の概況

2025年中

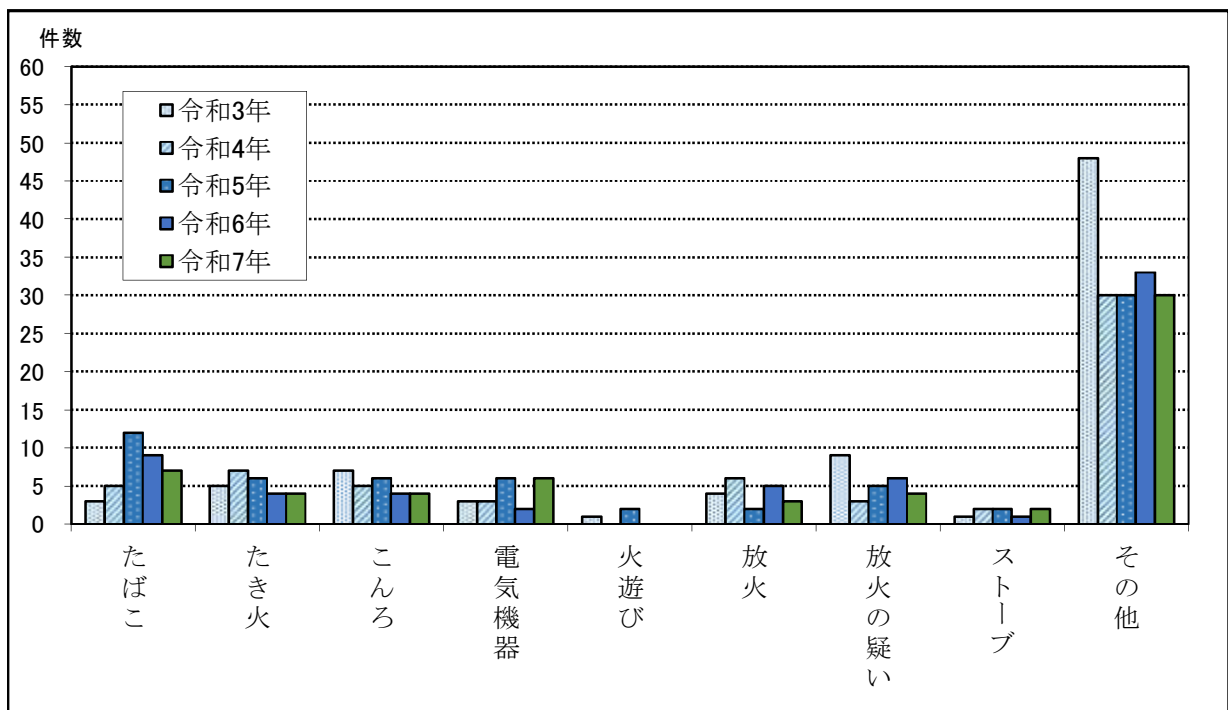
火災種別件数				焼損棟数	り災世帯数	死者	負傷者	建物焼損床面積	建物焼損表面積	その他	損害額
合計	建物	車両	その他	(棟)	(世帯)	(人)	(人)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(千円)
60	42	9	9	81	63	5	13	2,552	606	3,041	125,049



出火原因

(単位 件)

区 分	合 計	たばこ	たき火	こんろ	電気機器	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
令和3年	81	3	5	7	3	1	4	9	1	48
令和4年	61	5	7	5	3		6	3	2	30
令和5年	71	12	6	6	6	2	2	5	2	30
令和6年	64	9	4	4	2		5	6	1	33
令和7年	60	7	4	4	6		3	4	2	30



建物用途別・原因別件数

2025年中

区 分	合 計	住 宅 火 災				店 舗	工場・作業場	飲食店	その他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合 計	42	31	22	7	2	1	4		6
たばこ	6	6	4	2					
たき火	1								1
こんろ	4	4	3	1					
火遊び									
放火	1	1	1						
放火の疑い	2	2	1	1					
ストーブ	2	2	1		1				
電気機器	4	2	1	1		1	1		
配線器具	2	2	1		1				
電灯・電話等の配線									
その他	9	5	4	1			2		2
不明	11	7	6	1			1		3

連区・月別の火災件数

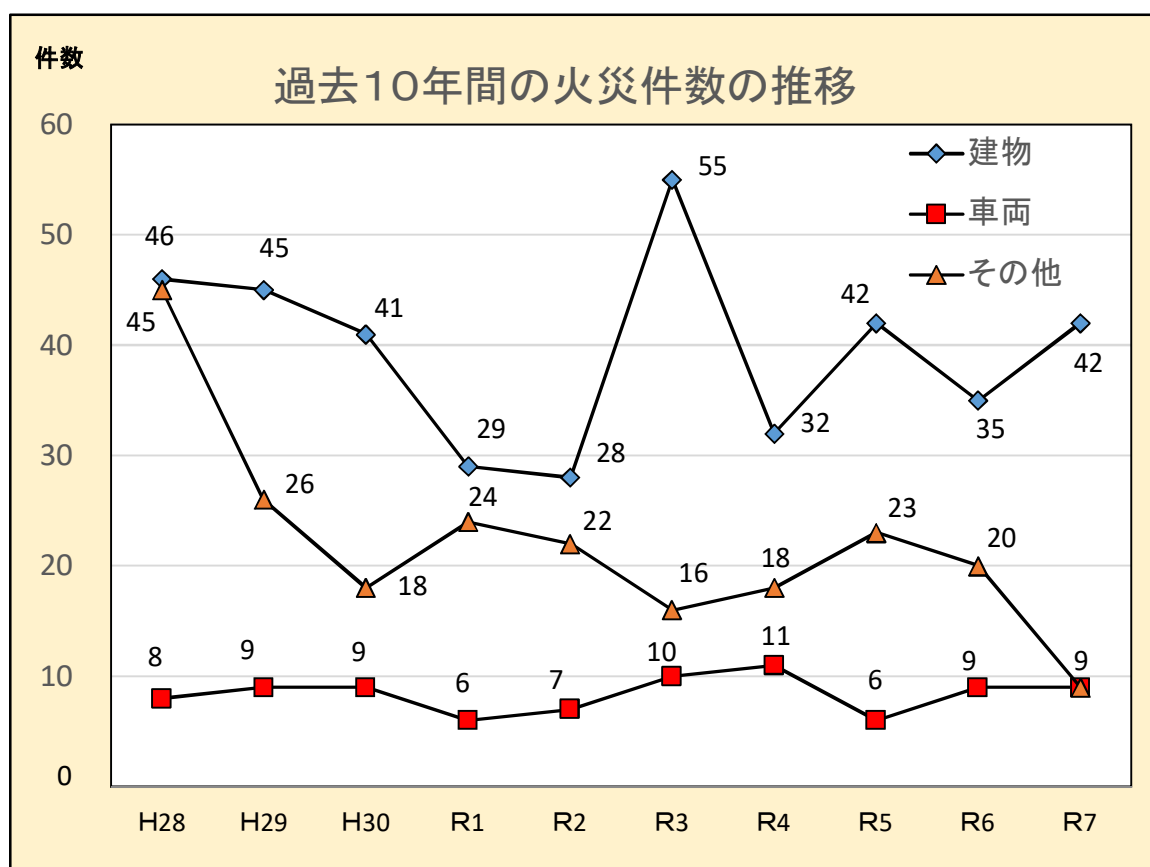
区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 延 焼	物 不 延 焼	車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
合 計	60	15	27	9	9	20	2	30	29	14	3	46	132
宮 西	1		1						1			1	4
貴 船													
神 山	2			1	1								
大 志	2	1	1			2		9	1	1		7	19
向 山	1		1						1			1	3
富 士													
葉 栗	5	1	1	1	2	2		1		4		2	9
西 成	3	1		2		1		1	1				
丹 陽 町	8	2	4		2	2		5	3	2		5	15
浅 井 町	4	2	1		1	3		3	3	1		3	8
北 方 町	1	1				1		1	1	1		2	6
大 和 町	4	1	3			1	1		4		1	4	12
今 伊 勢 町	3	1	2			2		5	2	1		5	14
奥 町	2		2						2				
萩 原 町	7		6	1				2	4	2	1	8	14
千 秋 町	2	1	1					1	2			3	10
起													
小 信 中 島													
三 条	2			2									
大 徳	2	1	1				1	1	1		1	2	5
朝 日	4	2			2	3		1		1			1
開 明	1			1									
木 曾 川 町	6	1	3	1	1	3			3	1		3	12
1 月	12	4	5	2	1	6		9	4	7	1	12	32
2 月	4		2	1	1	1			1			1	4
3 月	8	2	2	1	3	3		11	2	2		9	27
4 月	3	2			1	4		2		1			1
5 月	3	1	2			1		2	2	1		3	11
6 月	5	1	3	1		2			4	1		4	16
7 月	5	1	2	2		1		1	4	1		2	5
8 月	8		6		2			2	4			4	10
9 月	1			1									
10月	3	1	1		1		1		2		1	2	5
11月	2	1		1		1	1		1		1	1	3
12月	6	2	4			1		3	5	1		8	18

2025年中

区 分	死 傷 者		焼 損 面 積 (㎡)			損 害 額 (千円)						火 災 一 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)
	死	傷	床	表	そ	合	建	収	車	そ	爆	
	者	者	面	面	の	計	物	物	両	他	発	
合 計	5	13	2,552	606	3,041	125,049	104,819	17,487	1,894	849		2,084
宮 西		2				4		4				4
貴 船												
神 山						308			308			154
大 志	2		156	124	11	6,325	4,783	996	228	318		3,163
向 山				1		8	5	3				8
富 士												
葉 栗	1		132		100	3,874	2,415	1,275	47	137		775
西 成			52	10	252	9,913	5,125	4,084	704			3,304
丹 陽 町		1	259	76	851	20,029	18,041	1,937		51		2,504
浅 井 町			973	12	430	34,794	33,445	1,313		36		8,699
北 方 町			206	2		4,639	4,267	372				4,639
大 和 町			36		300	1,150	633	180	37	300		288
今 伊 勢 町		2	192	30		5,457	3,666	1,534	250	7		1,819
奥 町						1,289		1,289				645
萩 原 町		2	52	346		3,262	2,964	266	32			466
千 秋 町			7	1		2,213	2,005	37	171			1,107
起												
小 信 中 島												
三 条						55			55			28
大 徳	1	1	40	3		2,147	2,105	42				1,074
朝 日	1	1	140	1	504	2,952	2,896	56				738
開 明						17			17			17
木 曾 川 町		4	307		593	26,613	22,469	4,099	45			4,436
1 月	2	1	473	367	119	20,147	14,545	4,961	605	36		1,679
2 月		2	44		30	1,418	892	481	45			355
3 月	2	2	266	129	1,914	9,803	7,447	1,107	928	321		1,225
4 月			119	5	400	3,979	2,648	1,199		132		1,326
5 月		2	122	72		11,078	9,346	1,685		47		3,693
6 月		3	263			25,237	21,578	3,634	25			5,047
7 月		1	949	7		35,391	32,975	2,357	47	12		7,078
8 月		1	27	3	1	7,495	6,060	1,434		1		937
9 月						32			32			32
10月	1	1	40		25	2,119	2,074	45				706
11月			36		552	1,143	632	170	41	300		572
12月			213	23		7,207	6,622	414	171			1,201

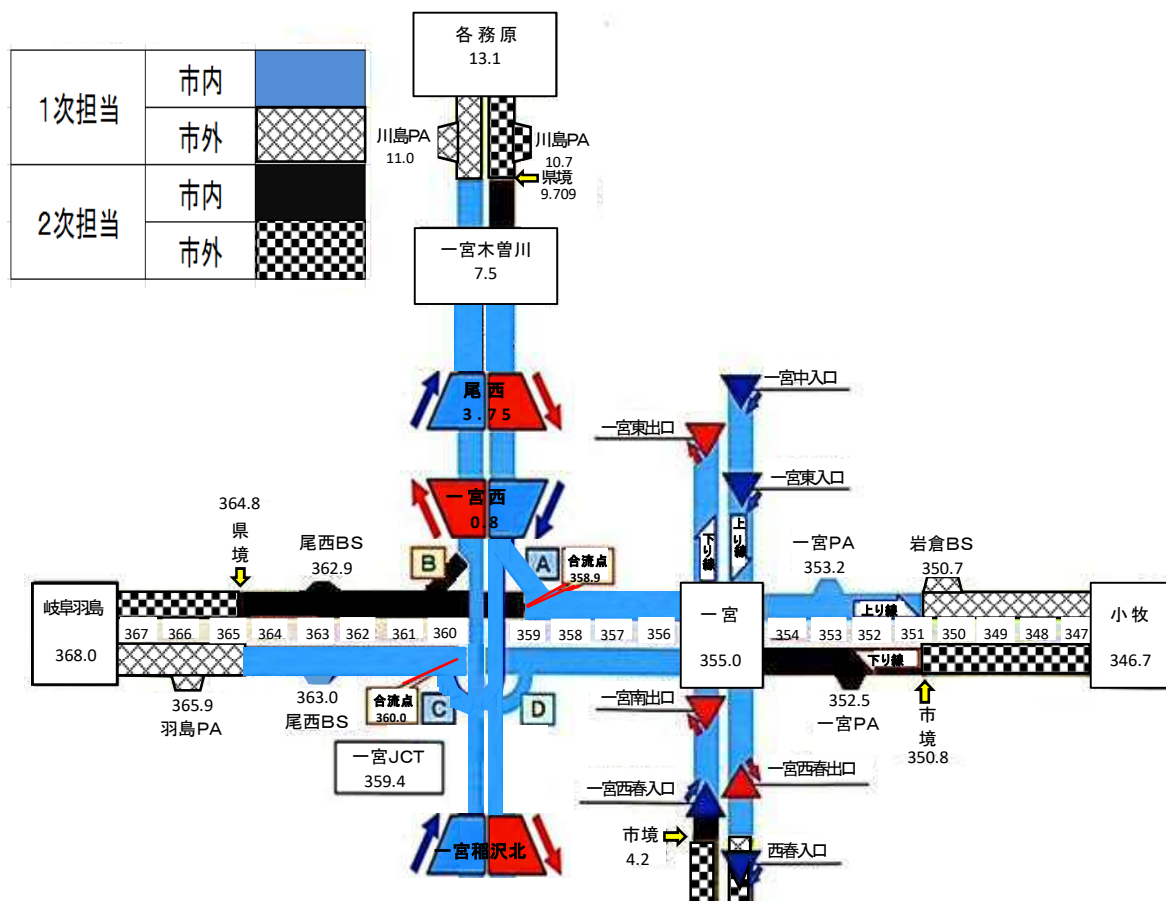
過去10年間の火災発生件数

区 分	火 災 件 数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損 害 額 (千 円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成28年	99	46	8	45	814	3	16	55,087
平成29年	80	45	9	26	1,574	2	13	96,788
平成30年	68	41	9	18	2,579	4	10	365,878
令和元年	59	29	6	24	1,993	1	8	196,002
令和2年	57	28	7	22	4,720	2	8	792,224
令和3年	81	55	10	16	2,755	3	15	190,252
令和4年	61	32	11	18	1,464	5	18	169,309
令和5年	71	42	6	23	2,622	2	17	181,880
令和6年	64	35	9	20	1,173	3	14	89,951
令和7年	60	42	9	9	2,552	5	13	125,049



高速道路の火災

2021年（令和3年）3月28日に東海北陸自動車道一宮稲沢北インターチェンジが開通し、本市の高速道路における担当区域は、下図に示すとおりとなりました。



<過去10年間の出動件数>

区 分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
計	4(3)	2(1)	2	2(1)	2	3	5	1	5	1(1)
車 両	4(3)	2(1)	2	2(1)	2	3	5		4	
その他								1	1	1(1)

※()内は管轄外出動で内数で記載

警 防



災害種別の出動状況

2025年中

区 分			出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)	
合 計(1)+(2)+(3)			4,554	5,278	18,390	
小 計(1)			60	516	1,786	
火 災	建 物 火 災		41	460	1,588	
	高 層 火 災		1	11	38	
	車 両 火 災		9	28	100	
	そ の 他 の 火 災		9	17	60	
	地 下 火 災					
	特 殊 車 両 火 災					
	航 空 機 火 災					
	指 定 建 物 火 災					
	危 険 物 施 設 火 災					
	高速自動車道	車 両 火 災				
		特殊車両火災				
		その他の火災				
小 計(2)			103	179	592	
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ					
	ガ ス 漏 れ		8	40	121	
	怪 煙		10	20	65	
	漏 油		63	66	222	
	火 災 警 戒		11	33	117	
	そ の 他		11	20	67	
小 計(3)			4,391	4,583	16,012	
焼 損 事 故			10	42	140	
誤 報			25	175	603	
虚 報						
応 援 (火 災 ・ 警 戒)			2	4	12	
救 急 支 援			4,354	4,362	15,257	

消防活動用資器材の配置

2026年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今 伊勢・ 奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
一 般 救 助 器 具	か ぎ 付 は し ご	6	3						1			2		
	三 連 は し ご	21	4	2	1	1	1	1	3	1	2	3	1	1
	金 属 製 折 り た た み は し ご 又 は ワ イ ヤー は し ご	5			1		1	1		1		1		
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	2	1									1		
	救 命 索 発 射 銃	2	1									1		
	サ バ イ バ ー ス リ ン グ 又 は 救 助 用 縛 帯	49	10	4	4	2	2	2	5	4	4	8	2	2
	平 担 架	4	2									2		
重 量 物 排 除 器 具	油 圧 ジ ャ ッ キ	2	1									1		
	油圧スプレッダ- (大型含む)	4	2						1			1		
	マンホール救助器具	2	1									1		
	救助用支柱器具一式	1	1											
	可 搬 ウ イ ン チ	5	2		1							2		
	マット型空気ジャッキ一式	2	1									1		
破 壊 ・ 切 断 器 具	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	5	1			1			1			2		
	油圧切断機 (大型含む)	6	3						1			2		
	空 気 鋸	5	3									2		
	空 気 切 断 機	4	2									2		
	ガ ス 溶 断 器	2	1									1		
	チ ェ ー ン ソ ー	2	1									1		
	鉄 線 鋏 (カッター)	58	10	4	4	3	3	3	10	4	5	8	1	3
	万 能 斧	46	10	4	3	2	3	4	5	2	3	6	2	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1									1		
	削 岩 機	2	1									1		
検 用 器 具 ・ 測 定	ハ ン マ ド リ ル	2	1									1		
	放 射 線 測 定 器	41	27						4			10		
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	24	5	2	2	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	有 毒 ガ ス 測 定 器	2	1									1		
隊 員 保 護 器 具 ・ 除 染 器	防 毒 マ ス ク	20	15									5		
	化 学 防 護 服	60	30						10			20		
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	10	5									5		
	放 射 線 保 護 服	6	3									3		
	除 染 シ ャ ワ ー	2	1									1		

2026年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今 伊勢・ 奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
水 難 器 具	潜 水 器 具 一 式	10										10		
	救 命 胴 衣	325	77	16	12	24	12	16	42	16	16	66	12	16
	水 中 投 光 器	10										10		
	救 命 浮 環	40	7	3	3	2	2	2	6	3	3	6	1	2
	浮 標	3							1			2		
	救 命 ボ ー ト	31	6	2	1	3	1	2	4	2	2	4	2	2
呼 吸 保 護 器 具	船 外 機	9	3						3			3		
	空 気 呼 吸 器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	防 塵 マ ス ク	128	38	8	9	4	5	4	19	8	8	16	5	4
	送 排 風 機	2	1									1		
	酸 素 呼 吸 器	10	5									5		
隊 員 保 護 器 具	簡 易 呼 吸 器	5	2									3		
	防 塵 メ ガ ネ	110	23	7	7	7	7	7	15	7	7	12	4	7
	耐 電 手 袋	14	7						2			5		
	耐 電 衣	4	2									2		
	耐 電 ズ ボ ン	4	2									2		
	耐 電 長 靴	8	4						2			2		
	携 帯 警 報 器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
そ の 他 ・ 山 岳 救 助 器 具	耐 熱 服	11	3						5			3		
	投 光 器 一 式	33	9	2	2	1	1	1	6	2	2	5	1	1
	携 帯 投 光 器	162	34	12	11	7	7	8	24	9	11	27	3	9
	緩 降 機	1	1											
	バ ス ケ ッ ト 担 架	4	2						1			1		
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	34	5	3	3	2	2	2	4	3	3	4	1	2
	簡 易 画 像 探 索 機	2	1									1		
	加 圧 排 煙 機	2	1									1		
高 度 救 助 用 器 具	エ ア ー テ ン ト	5	2						2			1		
	画 像 探 索 機	1	1											
	地 中 音 響 探 知 機	1	1											
	熱 画 像 直 視 装 置	4	2						1			1		
	夜 間 用 暗 視 装 置	1	1											
	地 震 警 報 器	1	1											

月別庁外業務活動状況

2025年中

業 務 種 別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		37,962	3,450	2,910	3,154	2,938	2,899	2,917	3,515	3,621	3,092	2,909	3,219	3,338
災害 出 動	火災出動	60	12	4	8	3	3	5	5	8	1	3	2	6
	救急出動	21,199	2,132	1,750	1,815	1,540	1,575	1,672	1,924	1,889	1,640	1,605	1,782	1,875
	救急支援	4,354	487	361	377	310	307	305	353	342	306	330	413	463
	救助出動	272	21	24	24	10	17	21	32	25	22	15	24	37
	警戒出動	103	12	10	10	4	6	8	10	8	4	7	7	17
	捜索活動													
	応援出動	2									1			1
	誤報等出動	25	2	3	2	1		2		2	5	3	3	2
焼 損 事 故		10	3	1	2			1		1		1		1
火 災 調 査		60	12	4	8	3	3	5	5	8	1	3	2	6
演 習 ・ 訓 練	署 所 訓 練	7,571	531	531	513	722	745	649	664	667	670	680	605	594
	全 署 訓 練	41	1	3	4	4	3	3	2	1	8	2	7	3
	合 同 訓 練	13	2	2				1	2		1	1	2	2
広 報 ・ 指 導	消火器取扱 訓 練	70	5	2	2	1	6	12	5	6	5	9	12	5
	予 防 広 報	1,494			198	77		29	347	544	216		83	
	そ の 他	7		2		1		1		1	1			1
特 別 警 戒	警 戒 巡 回	11					2	2			2			5
	行催事警戒	9	1	1		3	2					2		
警 防 調 査	消 防 水 利 調 査	451	49	39	32	32	51	34	42	26	45	28	33	40
	防 火 井 戸 性 能 試 験	178			78	98	2							
	空地等調査	16	4	1	2	1					1	3	1	3
	広 聴 調 査	310	23	27	25	15	18	16	24	21	28	27	44	42
	対象物調査	29	2	3	1	4	3	2	1	3	3	4	1	2
	そ の 他	18				5	3			2	6	2		
	予 防 査 察	638	67	80	17	5	9	24	25	25	40	99	104	143
そ の 他	街頭消火器 点 検	332	47	29	8	28	25	30	26	10	30	29	33	37
	消 防 防 災 施 設 点 検	181	13	14	12	13	13	13	13	12	24	15	13	26
	救命講習・ 救急法指導	395	23	14	14	25	65	71	28	20	29	40	44	22
	消防団訓練 指 導	105	1	5	2	33	41	11	2		2		3	5
	そ の 他	8							5		1	1	1	

消防水利の現況

2026年4月1日現在

区 分	合 計	公 設						私 設					そ の 他			
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽			小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽		小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
					40 m ³ 未 満	40 ～ 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上				40 ～ 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上				
合 計	5,205	5,091	4,106	601	5	357	22	36	2	4	22	8	78	74	1	3
	3,633	3,602	3,065	154	4	357	22	31	1		22	8				
宮 西	151	148	133	5	1	6	3	1			1		2	2		
	121	120	110	1		6	3	1			1					
貴 船	133	131	128	1		1	1	1			1		1	1		
	118	117	114	1		1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11		7	2	2			2		3	3		
	169	167	155	3		7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1		4	3						1	1		
	94	94	87			4	3									
向 山	102	100	90	7		3							2	2		
	80	80	72	5		3										
富 士	152	151	140	6		4	1						1	1		
	137	137	129	3		4	1									
葉 栗	283	276	220	36		20		2				2	5	5		
	219	217	176	21		20		2				2				
西 成	502	491	389	52	1	48	1	1			1		10	10		
	387	386	312	24	1	48	1	1			1					
丹 陽 町	388	380	343	26		11		3			3		5	4	1	
	265	262	242	9		11		3			3					
浅 井 町	274	270	205	37		27	1						4	4		
	205	205	163	14		27	1									
北 方 町	151	149	111	8	1	29							2	2		
	121	121	90	1	1	29										
大 和 町	473	460	370	51		37	2	6		1	4	1	7	7		
	326	321	269	13		37	2	5			4	1				
今伊勢町	191	184	151	20	1	12		4			4		3	3		
	127	123	107	3	1	12		4			4					
奥 町	143	136	112	7		16	1	2			2		5	2		3
	72	70	53			16	1	2			2					
萩 原 町	346	340	269	55		15	1	2		1		1	4	4		
	232	231	201	14		15	1	1				1				
千 秋 町	310	300	244	31		25		3		2	1		7	7		
	231	230	192	13		25		1			1					
起	62	60	44	13		2	1	1				1	1	1		
	35	34	31			2	1	1				1				
小信中島	131	129	92	34		2	1						2	2		
	59	59	52	4		2	1									
三 条	184	180	128	45		4	3	2				2	2	2		
	95	93	84	2		4	3	2				2				
大 徳	126	124	95	26		3		1				1	1	1		
	53	52	43	6		3		1				1				
朝 日	331	328	239	84		5							3	3		
	112	112	101	6		5										
開 明	120	116	95	19		2		1			1		3	3		
	71	70	68			2		1			1					
木曽川町	362	354	252	26	1	74	1	4	2		2		4	4		
	304	301	214	11	1	74	1	3	1		2					

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

2026年4月1日現在

応援協定等	
1	愛知県内広域消防相互応援協定
2	愛知県消防広域応援基本計画
3	愛知県消防活動等援助要綱
4	愛知県緊急消防援助隊受援計画
5	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
6	高速道路における消防相互応援協定(名神)
7	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
8	愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定
9	名古屋市航空機隊支援出動要請要領
10	ドクターヘリコプター運航要領
11	尾張西北部地区消防相互応援協定
12	木曽川流域消防相互応援協定
13	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
14	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
15	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
16	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
17	災害活動の協力に関する協定(重機)
18	都市ガス災害対策に関する業務協約
19	LPガス災害対策に関する業務協約
20	災害時における消防用水等の確保に関する協定
21	医師等の出動要請に関する協定書(ドクターカー)

緊急消防援助隊



【緊急消防援助隊とは】

・緊急消防援助隊とは、阪神・淡路大震災での教訓（人命救助活動を行う応援部隊の早期出動の必要性等）を踏まえ、1995年（平成7年度）に創設されました。国内で発生した大規模災害や特殊災害時に、被災地の消防機関では対処できない場合、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防本部から、人命救助活動等を行うために被災地へ駆け付ける応援部隊のことです。

【一宮市消防本部の登録隊(艇)数等】

2026年4月1日現在

小隊種別	隊数	車両名称等
消 火 小 隊	7隊	水槽付消防ポンプ自動車 ・ 萩原1号車 ・ 大和1号車 ・ 千秋1号車 ・ 北方1号車 ・ 本署2号車 ・ 本署1号車 化学消防ポンプ自動車 ・ 尾西1号車
救 助 小 隊	1隊	救助工作車(Ⅱ型) ・ 本署救助工作車
救 急 小 隊	4隊	高規格救急自動車 ・ 尾西救急1号車 ・ 分署救急1号車 ・ 葉栗救急1号車 ・ 萩原救急1号車
後 方 支 援 小 隊	1隊	資機材搬送車 ・ 搬送3号車
特 殊 装 備 小 隊	2隊	はしご付消防自動車 ・ 尾西はしご車 ・ 本署はしご車
そ の 他	1艇	高機能救命ボート

【一宮市消防本部の派遣実績】

●平成16年7月 福井豪雨

・2004年（平成16年）7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として福井県に派遣隊1隊（5名）を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18～7/19	消火小隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

●平成23年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

・2011年(平成23年)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として宮城県に派遣隊29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12～3/15	消火小隊 救助小隊 後方支援小隊	12名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で捜索
第3次隊	3/13～3/16	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で捜索
第5次隊	3/17～3/22	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で捜索
第6次隊	3/20～3/25	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第7次隊	3/23～3/28	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第8次隊	3/26～3/30	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第9次隊	3/29～4/3	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第10次隊	4/1～4/6	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第11次隊	4/4～4/9	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第12次隊	4/7～4/12	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第13次隊	4/10～4/15	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第14次隊	4/13～4/18	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第15次隊	4/16～4/21	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索
第16次隊	4/19～4/24	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で捜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

●平成26年御嶽山噴火

・2014年(平成26年)9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として長野県王滝村に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助小隊	5名	御岳剣ヶ峰山荘売店付近の捜索
第20次隊	10/11～10/12	救助小隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の捜索
第24次隊	10/16～10/17	救助小隊	5名	派遣期間中に捜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

●平成30年7月豪雨

・2018年(平成30年)6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とした全国的に広範囲な集中豪雨が発生、河川の氾濫や浸水害のため、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として岡山県倉敷市真備町に派遣隊2隊(8名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/7～7/8	救急小隊	3名	小田川北面冠水地区にて、トリアージ活動
第2次隊	7/7～7/10	救助小隊	5名	真備町冠水地区にて、救命ボートで救出活動

●令和3年熱海市伊豆山土石流災害

・2021年(令和3年)7月3日梅雨前線に伴う豪雨により、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で土石流が発生、多くの人的、物的被害が出たため、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として静岡県熱海市に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/10～7/13	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の捜索及び救助活動
第2次隊	7/13～7/16	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の捜索及び救助活動
第3次隊	7/16～7/19	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の捜索及び救助活動

●令和6年能登半島地震

・2024年(令和6年)1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、能登半島地方に甚大な被害が発生したため、1月1日から1月31日までの間に、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として石川県輪島市に派遣隊23隊(87名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	1/1～1/4	消火小隊 救助小隊 救急小隊 後方支援小隊	16名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第2次隊	1/4～1/7	救助小隊 救急小隊 後方支援小隊	11名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第3次隊	1/7～1/10	救助小隊 救急小隊 後方支援小隊	11名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第4次隊	1/10～1/13	救助小隊 救急小隊 後方支援小隊	11名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第5次隊	1/13～1/16	救助小隊 後方支援小隊	8名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第6次隊	1/16～1/19	救助小隊 後方支援小隊	8名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第7次隊	1/19～1/22	救助小隊 後方支援小隊	8名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第8次隊	1/22～1/25	救助小隊 後方支援小隊	8名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第9次隊	1/25～1/28	後方支援小隊	3名	石川県輪島市で他隊の支援活動
第10次隊	1/28～1/31	後方支援小隊	3名	石川県輪島市で他隊の支援活動

＜活動写真＞



倒壊した家屋で要救助者を捜索する隊員



土砂に埋まった要救助者を捜索する隊員

●令和6年9月奥能登豪雨

・2024年(令和6年)9月20日線状降水帯の発生に伴う豪雨により、石川県奥能登地方を中心に河川の氾濫による浸水被害や土砂災害が発生、多くの人的、物的被害が出たため、緊急消防援助隊愛知県大隊の一員として石川県輪島市に派遣隊6隊(30名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	9/21～9/24	救助小隊 後方支援小隊	10名	石川県輪島市で行方不明者の捜索、救助活動及び後方支援活動
第2次隊	9/24～9/27	救助小隊 後方支援小隊	10名	石川県輪島市で行方不明者の捜索、救助活動及び後方支援活動
第3次隊	9/27～9/30	救助小隊	5名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動
第4次隊	9/30～10/3	救助小隊	5名	石川県輪島市で行方不明者の捜索及び救助活動

<活動写真>



現地の被害状況



現地の被害状況



土砂に埋まった要救助者を捜索する隊員

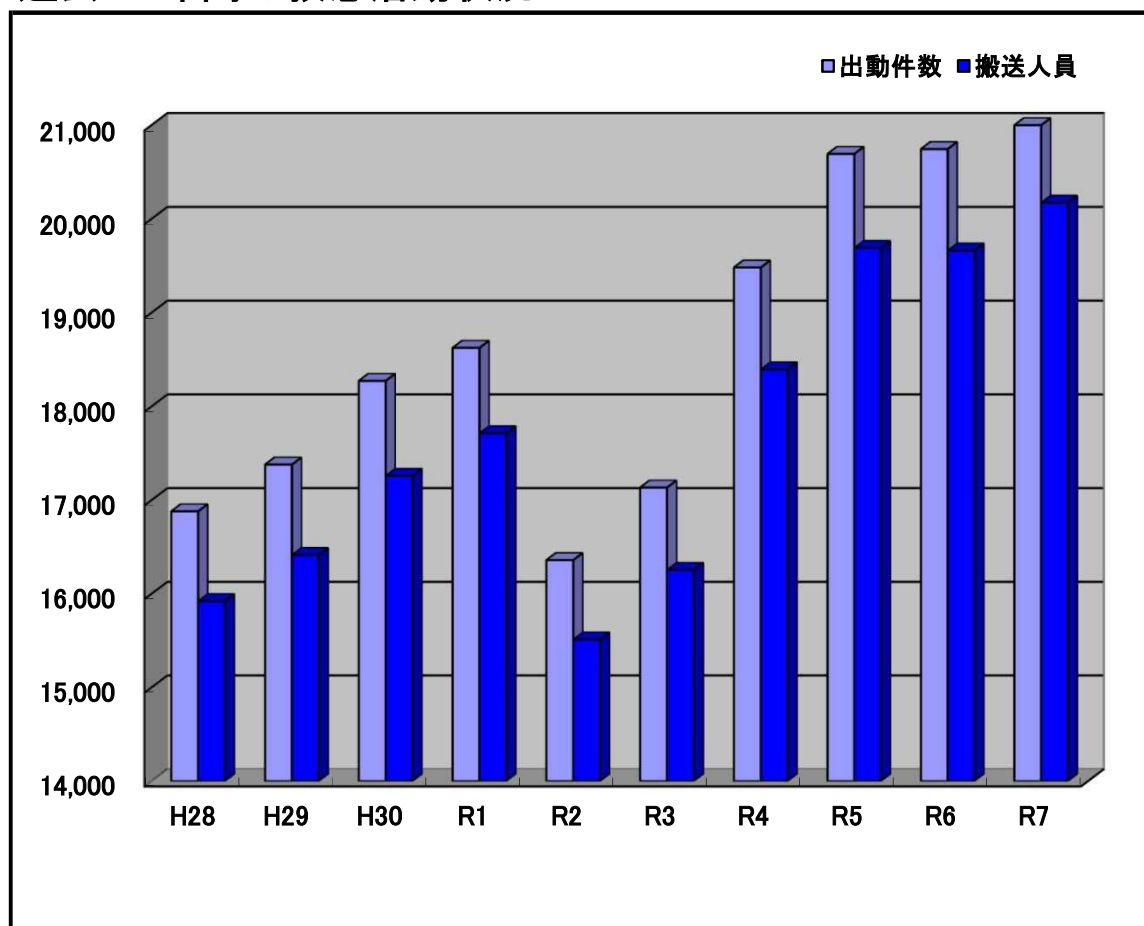


堆積物に埋まった要救助者を捜索する隊員

救急・救助



過去10年間の救急活動状況



(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員												
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H28	16,882	60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,294
	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031
H29	17,381	71	1	4	1,699	149	113	2,274	63	138	11,554	1,315
	16,416	13	1		1,782	144	113	2,183	55	106	10,985	1,034
H30	18,274	51	7	3	1,511	175	138	2,349	60	121	12,448	1,411
	17,262	9	7		1,551	174	141	2,272	49	88	11,875	1,096
R1	18,626	54		6	1,498	166	125	2,411	51	132	12,798	1,385
	17,716	9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090
R2	16,361	53		7	1,234	144	83	2,372	37	127	11,021	1,283
	15,513	8			1,278	142	83	2,304	35	97	10,554	1,012
R3	17,136	64		11	1,241	125	86	2,415	37	141	11,653	1,363
	16,257	12		1	1,284	123	87	2,341	36	109	11,161	1,103
R4	19,483	39		2	1,213	120	102	2,663	44	148	13,710	1,442
	18,396	13			1,211	119	103	2,577	36	115	13,086	1,136
R5	20,694	56		10	1,339	147	103	2,766	43	158	14,764	1,308
	19,692	19		2	1,355	148	105	2,696	35	124	14,184	1,024
R6	20,746	52		6	1,331	145	128	2,851	52	146	14,686	1,349
	19,664	15		1	1,337	141	128	2,781	51	117	14,058	1,035
R7	21,199	54		2	1,256	122	108	2,902	35	172	15,184	1,364
	20,174	11			1,261	122	110	2,850	30	134	14,622	1,034

曜日・月別救急出動件数

2025年中

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
曜 日 別	月	8		1	193	16	10	394	3	28	2,215	177	1	12	26	3,084
	火	5			179	27	7	386	3	24	2,136	172	1	16	32	2,988
	水	9			174	26	12	427	11	26	2,181	156	1	18	32	3,073
	木	7			204	23	6	382	5	27	2,101	138		6	29	2,928
	金	4			209	15	12	426	3	30	2,151	214	1	15	33	3,113
	土	13		1	158	9	27	473	5	19	2,091	126	2	7	40	2,971
	日	8			139	6	34	414	5	18	2,309	58	3	11	37	3,042
合 計		54		2	1,256	122	108	2,902	35	172	15,184	1,041	9	85	229	21,199
月 別	1月	10		1	91	7	5	287	2	10	1,578	112	3	7	19	2,132
	2月	2			88	3	5	229	4	13	1,286	93	2	6	19	1,750
	3月	7			113	8	7	274	1	14	1,267	97	1	9	17	1,815
	4月	2			86	5	13	233	2	11	1,074	89		6	19	1,540
	5月	3		1	102	11	7	232	2	17	1,115	69		6	10	1,575
	6月	4			106	16	18	234	2	25	1,169	82		3	13	1,672
	7月	4			136	16	12	207	3	12	1,425	71	1	8	29	1,924
	8月	7			91	15	11	219	2	18	1,404	96		7	19	1,889
	9月	2			98	18	12	220	4	17	1,160	80		8	21	1,640
	10月	3			106	9	5	233	6	12	1,126	80		8	17	1,605
	11月	3			115	7	11	264	2	9	1,246	90	2	12	21	1,782
	12月	7			124	7	2	270	5	14	1,334	82		5	25	1,875

曜日・月別救急搬送人員

2025年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
曜 日 別	月	1			191	16	10	390	2	21	2,136	175	2,942
	火				180	27	8	377	2	16	2,059	171	2,840
	水	2			172	26	12	416	10	24	2,103	155	2,920
	木	2			214	23	6	373	4	20	2,018	137	2,797
	金	1			208	15	13	415	3	25	2,059	213	2,952
	土	1			156	9	27	468	4	13	2,015	126	2,819
	日	4			140	6	34	411	5	15	2,232	57	2,904
合 計		11			1,261	122	110	2,850	30	134	14,622	1,034	20,174
月 別	1月	2			88	7	5	284	2	9	1,492	110	1,999
	2月	1			87	3	5	222	4	7	1,231	92	1,652
	3月	2			120	8	7	267		13	1,219	96	1,732
	4月				89	5	13	232	2	7	1,035	89	1,472
	5月	1			108	11	7	222	2	14	1,072	69	1,506
	6月	2			106	16	20	228	2	19	1,121	82	1,596
	7月	1			143	16	12	202	2	10	1,387	70	1,843
	8月	1			89	15	12	217	2	16	1,359	96	1,807
	9月				94	18	12	218	3	12	1,125	80	1,562
	10月	1			101	9	4	230	5	11	1,096	80	1,537
	11月				117	7	11	260	2	5	1,201	90	1,693
	12月				119	7	2	268	4	11	1,284	80	1,775

連区別救急出動件数

2025年中

地区 事故種別	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			
		災	然 災 害	難	通 事 故	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他
合 計	21,199	54		2	1,256	122	108	2,902	35	172	15,184	1,041	9	85	229
宮 西	900	1			56	1	4	94	1	9	596	41		85	12
貴 船	602				36		4	83		7	420	45	1		6
神 山	1,102				62	3	3	177	3	6	813	14			21
大 志	374	4			18	1		55		5	265	17	1		8
向 山	474	1			33	1	3	76		6	314	32			8
富 士	648				47	3	3	85	1	3	495	5			6
葉 栗	927	3			54	4	21	118	1	4	704	11			7
西 成	1,756	2			115	9	2	260	5	15	1,257	71			20
丹 陽 町	1,365	6			129	34	3	171	5	14	960	17	3		23
浅 井 町	1,132	3			48	4	1	155	2	11	835	65			8
北 方 町	420	1			26		3	69		3	312				6
大 和 町	2,151	5			147	8	9	322	7	27	1,549	52			25
今伊勢町	1,414	3			50	5	4	176		9	1,068	90			9
奥 町	835	2			38	4	3	108	2	6	564	101			7
萩 原 町	1,081	6		1	49	12	2	138	2	6	830	23			12
千 秋 町	942	3			53	8	16	100	1	8	602	146	1		4
木曾川町	1,699	6			117	7	12	245		10	1,183	104	2		13
起	185				6		1	35		1	136	2			4
小信中島	594	3			32	2	3	94	1	4	434	15			6
三 条	681	2			36	3	2	103	1	6	492	32			4
大 徳	554	1			27	1	1	76		6	424	15			3
朝 日	663	2			24	10	1	88		4	519	5			10
開 明	612				44	1	7	68	3	2	384	95	1		7
管 外	88			1	9	1		6			28	43			

連区別救急搬送人員

2025年中

地区 事故種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	20,174	11			1,261	122	110	2,850	30	134	14,622	1,034
宮 西	778	1			57	1	4	93	1	6	574	41
貴 船	580				38		4	81		5	407	45
神 山	994				58	3	3	171	3	4	738	14
大 志	342				18	1		53		4	250	16
向 山	448				31	1	3	75		6	300	32
富 士	623				44	3	3	85	1	3	479	5
葉 栗	890	1			51	4	21	118	1	3	680	11
西 成	1,695				121	9	2	258	5	12	1,217	71
丹 陽 町	1,293	1			132	34	3	169	4	8	925	17
浅 井 町	1,087				50	4	1	154	1	8	804	65
北 方 町	405				24		4	69		2	306	
大 和 町	2,046				145	8	9	317	5	23	1,487	52
今伊勢町	1,364	1			48	5	5	170		5	1,041	89
奥 町	805				38	4	3	106	2	5	546	101
萩 原 町	1,033	2			47	12	2	136	2	4	805	23
千 秋 町	914				55	8	16	97	1	8	585	144
木曾川町	1,649	3			124	7	12	239		9	1,154	101
起	175				6		1	33		1	132	2
小信中島	563				31	2	3	91	1	3	417	15
三 条	659				37	3	2	102	1	5	477	32
大 徳	522	1			27	1	1	73		5	399	15
朝 日	631	1			23	10	1	87		3	501	5
開 明	593				47	1	7	67	2	2	372	95
管 外	85				9	1		6			26	43

現場到着所要時間別救急出動件数

2025年中

現場到着 所要時間 事故種別	3 分 未 満	3 分 以 上 5 分 未 満	5 分 以 上 10 分 未 満	10 分 以 上 20 分 未 満	20 分 以 上	合 計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
合 計	209	2,047	16,467	2,452	24	21,199	0	38	6.9
急 病	87	1,483	12,024	1,583	7	15,184	0	38	6.9
交 通 事 故	15	101	921	209	10	1,256	0	29	7.5
一 般 負 傷	11	335	2,248	306	2	2,902	0	23	6.8
上 記 以 外	96	128	1,274	354	5	1,857	0	32	7.2

病院収容所要時間別救急搬送人員

2025年中

収 容 所要時間 事故種別	10 分 未 満		10 分 以 上 20 分 未 満		20 分 以 上 30 分 未 満		30 分 以 上 60 分 未 満		60 分 以 上 120 分 未 満		120 分 以 上		合 計		収容 最短 所要 時間 (分)	収容 最長 所要 時間 (分)	収容 平均 所要 時間 (分)
	うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外				
合 計	3	1	3,319	27	12,909	395	3,899	398	44	20			20,174	841	5	95	25.1
急 病	1	1	2,512	19	9,489	271	2,597	230	23	10			14,622	531	5	95	24.8
交 通 事 故			164	2	713	14	378	36	6	1			1,261	53	10	64	27.1
一 般 負 傷	1		414	4	1,796	65	632	41	7	1			2,850	111	9	81	25.5
上 記 以 外	1		229	2	911	45	292	91	8	8			1,441	146	6	91	25.8

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

2025年中

事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	合 計	20,174	11			1,261	122	110	2,850	30	134	14,622	1,034
	死 亡	292	1			7			14		22	247	1
	重 症	2,142				58	5	3	128		26	1,667	255
	中等症	8,027	6			270	45	22	1,106	3	50	5,871	654
	軽 症	9,713	4			926	72	85	1,602	27	36	6,837	124
	その他												
新 生 児	小 計	99										11	88
	死 亡												
	重 症	41											41
	中等症	45										4	41
	軽 症	13										7	6
	その他												
乳 幼 児	小 計	753				33			144			554	22
	死 亡	2										2	
	重 症	9				1			1			6	1
	中等症	221				2			13			186	20
	軽 症	521				30			130			360	1
	その他												
少 年	小 計	655				158	1	82	75	2	13	307	17
	死 亡	1									1		
	重 症	19				5		1	2		4	5	2
	中等症	144				23		13	15		2	82	9
	軽 症	491				130	1	68	58	2	6	220	6
	その他												
成 人	小 計	5,331	7			655	93	24	398	14	107	3,800	233
	死 亡	51	1			3			2		17	28	
	重 症	409				18	4	2	15		21	298	51
	中等症	1,383	5			113	32	7	100	3	43	942	138
	軽 症	3,488	1			521	57	15	281	11	26	2,532	44
	その他												
高 齢 者	小 計	13,336	4			415	28	4	2,233	14	14	9,950	674
	死 亡	238				4			12		4	217	1
	重 症	1,664				34	1		110		1	1,358	160
	中等症	6,234	1			132	13	2	978		5	4,657	446
	軽 症	5,200	3			245	14	2	1,133	14	4	3,718	67
	その他												

新 生 児 : 生後28日未満の者
 乳 幼 児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少 年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成 人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高 齢 者 : 満65歳以上の者

救急隊員の行った応急処置等件数

2025年中

区 分		応 急 処 置		止	固	人	心	酸	気	うち器具を使用した気道確保			
		対 象 人 数	件 数 合 計							※1	※2	※3	※4
合 計	合 計	20,160	89,992	232	1,997	159	416	3,664	750	27	36	156	1
	死 亡	292	1,416		24	3	277	272	280	10	20	98	1
	重 症	2,138	10,291	12	142	76	130	881	281	13	13	55	
	中 等 症	8,021	37,079	47	875	72	8	2,070	164	4	3	3	
	軽 症	9,709	41,206	173	956	8	1	441	25				
	そ の 他												
急 病	小 計	14,617	65,324	53	331	149	356	3,050	656	21	26	148	1
	死 亡	247	1,196		5	3	233	227	236	8	16	94	1
	重 症	1,667	8,163		26	71	116	727	250	9	9	52	
	中 等 症	5,868	27,340	4	176	67	6	1,718	146	4	1	2	
	軽 症	6,835	28,625	49	124	8	1	378	24				
	そ の 他												
交 通 事 故	小 計	1,261	5,719	23	534	1	6	77	10	1		2	
	死 亡	7	39		7		6	7	6			2	
	重 症	58	333	2	47	1		25	3	1			
	中 等 症	270	1,315	11	154			31	1				
	軽 症	926	4,032	10	326			14					
	そ の 他												
一 般 負 傷	小 計	2,847	12,863	133	988	4	28	155	36	4	10	6	
	死 亡	14	65		1		14	14	14	2	4	2	
	重 症	128	631	6	52	2	12	32	17	2	4	3	
	中 等 症	1,105	5,070	24	476	2	2	74	5		2	1	
	軽 症	1,600	7,097	103	459			35					
	そ の 他												
上 記 以 外	小 計	1,435	6,086	23	144	5	26	382	48	1			
	死 亡	24	116		11		24	24	24				
	重 症	285	1,164	4	17	2	2	97	11	1			
	中 等 症	778	3,354	8	69	3		247	12				
	軽 症	348	1,452	11	47			14	1				
	そ の 他												

※1 経鼻エアウェイを使用したの気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用したの気道確保

※4 気管挿管による気道確保

2025年中

区 分		保 温	被 覆	在 宅 療 法	除 細 動	静 脈 路 確 保	血 圧 測 定	心 音・呼 吸 音	血 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	血 糖 測 定	エ ピ ペ ン 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	薬 剤 投 与	そ の 他
合 計	合 計	218	767	184	35	85	19,197	4,636	19,663	18,217	84	3	15	29	19,641
	死 亡	4	2		13	20	28	14	29	254				17	179
	重 症	64	40	24	19	27	1,977	544	2,021	2,009	23	1	1	10	2,009
	中 等 症	117	147	121	3	28	7,844	2,201	7,992	7,475	40	1	7		7,867
	軽 症	33	578	39		10	9,348	1,877	9,621	8,479	21	1	7	2	9,586
	そ の 他														
急 病	小 計	172	65	156	33	81	13,946	3,834	14,230	13,739	82	3	15	27	14,346
	死 亡	4	1		12	20	27	13	28	217				17	153
	重 症	54	6	23	18	24	1,559	462	1,564	1,621	23	1	1	8	1,609
	中 等 症	91	23	107	3	27	5,760	1,867	5,845	5,640	38	1	7		5,814
	軽 症	23	35	26		10	6,600	1,492	6,793	6,261	21	1	7	2	6,770
	そ の 他														
交 通 事 故	小 計	8	129			1	1,224	323	1,240	931					1,212
	死 亡		1				1		1	6					4
	重 症	2	10			1	56	26	56	50					54
	中 等 症	3	31				267	76	268	218					255
	軽 症	3	87				900	221	915	657					899
	そ の 他														
一 般 負 傷	小 計	13	517	19	2	2	2,727	264	2,793	2,383				2	2,797
	死 亡				1					13					8
	重 症		20	1	1	2	120	18	121	106				2	119
	中 等 症	9	79	6			1,098	113	1,104	985					1,093
	軽 症	4	418	12			1,509	133	1,568	1,279					1,577
	そ の 他														
上 記 以 外	小 計	25	56	9		1	1,300	215	1,400	1,164	2				1,286
	死 亡							1		18					14
	重 症	8	4				242	38	280	232					227
	中 等 症	14	14	8		1	719	145	775	632	2				705
	軽 症	3	38	1			339	31	345	282					340
	そ の 他														

救急高度化の推移

区 分	令 和 3 年	令 和 4 年	令 和 5 年	令 和 6 年	令 和 7 年
一 宮 市 人 口	383,582	381,366	379,538	377,661	375,827
救 急 出 動 件 数	17,136	19,483	20,694	20,746	21,199
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	447	511	545	549	564
救 急 救 命 士 数	96	99	99	99	104
気 管 挿 管 救 命 士 数	19	20	20	20	20
薬 剤 投 与 救 命 士 数	78	79	79	80	84
救 急 搬 送 人 員 (A)	16,257	18,396	19,692	19,664	20,174
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	404	429	433	392	423
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が 目撃された心肺停止傷病者搬送人員 〕 (C)	(35)	(32)	(28)	(20)	(20)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	268	297	304	271	290
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	2.5	2.3	2.2	2.0	2.1
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	66.3	69.2	70.2	69.1	68.6
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が目撃された 心肺停止傷病者を除くバイスタンダーCPR実施率% 〕 (D / (B - C))	(72.6)	(74.8)	(75.1)	(72.8)	(72.0)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

高速道路の救急活動状況

2025年中

区		分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	合 計		75	4	2	10	6	6	1	9	8	11	5	12	1	
	事故種別	火 災	1													1
		急 病	20	2	2	1	2	2	1	3	3	1	1	2		
		交通事故	50	1		9	3	4		6	5	9	4	9		
		上記以外	4	1			1					1		1		
	地域別	市 内	66	4		10	4	6	1	8	7	10	3	12		1
		市 外	5		1		2					1	1			
		県 外	4		1					1	1		1			
	不 搬 送		9	1		1	1						1	4		1

搬 送 人 員	合 計	78	3	2	14	6	7	1	9	8	13	4	11	
	種 別	火 災												
		急 病	19	1	2	1	2	2	1	3	3	1	1	2
		交通事故	57	1		13	4	5		6	5	11	3	9
		上記以外	2	1							1			
	性 別	男	64	2	2	10	6	6		9	8	9	4	8
		女	14	1		4		1	1		4		3	
	傷 病 程 度 別	死 亡												
		重 症	5					1	1	1	1		1	
		中 等 症	18	1		1	2	2		2	2	2	4	2
		軽 症	55	2	2	13	4	4		6	5	11		8
		そ の 他												

応急手当等の普及活動状況

〈救命講習等実施状況〉

区	分	合 計	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	救命入門コース	上級救命講習	応急手当普及員講習	一般救急講習
平成28年	実施回数	405	115		8		4	3	275
	参加人員	19,106	4,971		173		53	42	13,867
平成29年	実施回数	394	99		8	4	3	2	278
	参加人員	18,035	4,626		169	83	29	46	13,082
平成30年	実施回数	386	110		10	1	2	2	261
	参加人員	15,981	4,822		192	16	24	13	10,914
令和元年	実施回数	399	114		11	3	3	5	263
	参加人員	15,363	4,648		265	54	44	101	10,251
令和2年	実施回数	65	27		18		1	1	18
	参加人員	846	218		137		21	8	462
令和3年	実施回数	228	157	4	11	13			43
	参加人員	5,332	4,046	47	120	115			1,004
令和4年	実施回数	360	172		34	9		11	134
	参加人員	8,743	4,105		413	126		127	3,972
令和5年	実施回数	335	113	2	29	6		8	177
	参加人員	9,540	4,145	25	327	75		12	4,956
令和6年	実施回数	387	117	4	27	5	6		228
	参加人員	14,066	5,621	111	436	97	105		7,696
令和7年	実施回数	395	102	3	19	17	2	1	251
	参加人員	14,549	4,852	87	384	315	32	14	8,865

〈救命講習等の内容〉

講 習 名	内 容	時 間
普通救命講習Ⅰ	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法	3時間
普通救命講習Ⅱ	心肺蘇生法(主に成人を対象とするが、受講者によっては、小児・乳児を対象)、大出血時の止血法、筆記・実技試験	4時間
普通救命講習Ⅲ	心肺蘇生法(主に小児・乳児を対象)、大出血時の止血法	3時間
上級救命講習	心肺蘇生法(成人、小児・乳児を対象)、大出血時の止血法、その他の応急手当	4時間×2日
救命入門コース	心肺蘇生法(主に成人を対象)	90分
応急手当普及員講習	応急手当普及員として基礎的な知識技能、指導要領、効果測定・指導内容に関する質疑への対応	6時間×4日
一般救急講習	胸骨圧迫及びAEDの取扱い等	1～2時間

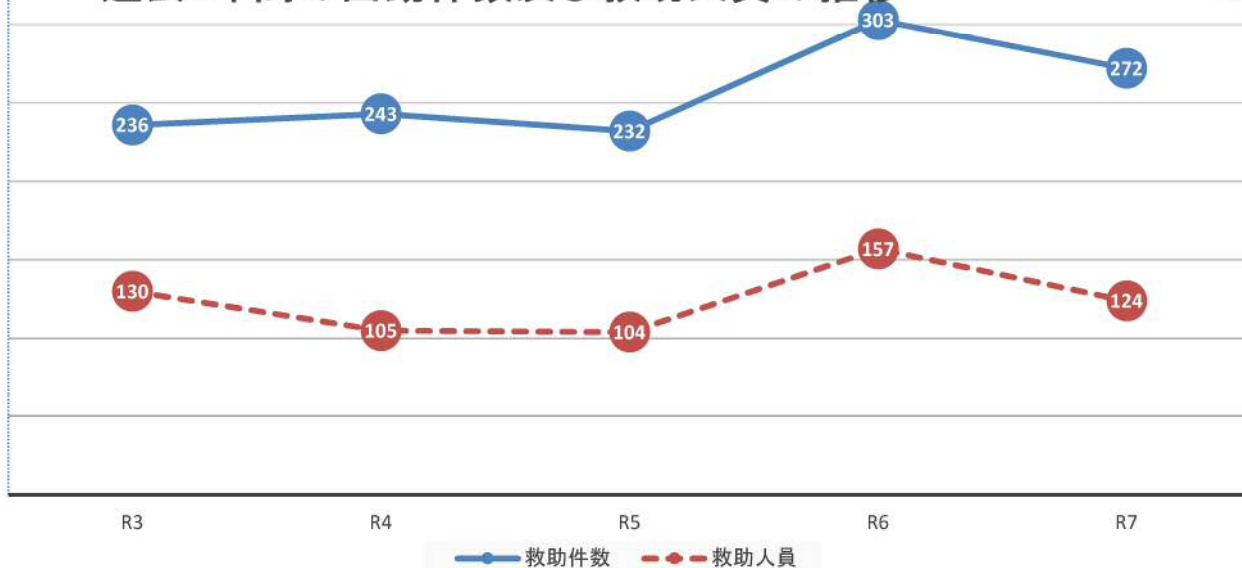
救助活動状況

2025年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	救助人員
		台 数	人 員		
合 計	272	1,379	4,249	164	124
火 災	9	109	328	9	3
交 通 事 故	41	215	660	27	30
水 難 事 故	2	10	28		
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故					
機 械 による 事 故	2	10	29	1	2
建 物 等 による 事 故	121	577	1,772	109	71
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2	10	28	1	1
破 裂 事 故					
そ の 他 の 事 故	95	448	1,404	17	17



過去5年間の出動件数及び救助人員の推移



月別救助出動状況

2025年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	272	21	24	24	10	17	21	32	25	22	15	24	37
	出動人員	4,249	387	356	396	149	256	311	485	364	321	240	383	601
火 災	出動件数	9	3		2							1		3
	出動人員	328	120		74							37		97
交 通 事 故	出動件数	41	2	6	6		2	5	4	5	1		3	7
	出動人員	660	36	94	91		29	77	75	71	18		65	104
水 難 事 故	出動件数	2			1		1							
	出動人員	28			14		14							
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数													
	出動人員													
機 械 に よ る 事 故	出動件数	2					1			1				
	出動人員	29					14			15				
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	121	10	14	8	5	8	6	14	11	11	9	11	14
	出動人員	1,772	145	205	116	74	118	90	202	160	155	131	164	212
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	2						1					1	
	出動人員	28						14					14	
破 裂 事 故	出動件数													
	出動人員													
そ の 他 の 事 故	出動件数	95	6	4	7	5	5	9	14	8	10	5	9	13
	出動人員	1,404	86	57	101	75	81	130	208	118	148	72	140	188

救助訓練等実施状況

陸上

2025年度中

月	日	訓練名	場所
5月	25日	高度救助隊新隊員課長査閲	一宮消防署本署
6月	1日	高度救助隊新隊員課長査閲	一宮消防署本署
	20日	名古屋鉄道株式会社との救助合同訓練	犬山市 名古屋鉄道株式会社 犬山検査場
7月	4日	一宮警察署との交通救助合同訓練	木曽川消防署
	11日	特別救助隊新隊員課長査閲	木曽川消防署
	28・29日	総合大雄会病院ドクターカー乗務員との合同訓練	一宮消防署本署
9月	1日・2日・12日 17日・25日	救命索発射銃取扱い訓練	木曽川左岸河川敷 (北方町北方字川原屋敷地内)
	11日	尾三消防本部との合同訓練	愛知郡東郷町 尾三消防本部
	24日	特別救助隊新隊員課長査閲	木曽川消防署
11月	19・20日	稲沢市消防本部との救助合同訓練	稲沢市 稲沢市消防本部
12月	17・18日	岐阜市消防本部救助隊との合同訓練 (NOBIプロジェクト)	旧いまいせ心療センター
2月	2日	第20回アジア競技大会に伴う合同訓練	稲沢市 豊田合成記念体育館 ENTRIO
	4日	特別救助隊木曽川消防署長査閲	木曽川消防署
	14・15日	名古屋市消防局本部機動部隊特別消防救助隊との合同訓練	名古屋市 名古屋市消防局本部機動部隊特別消防救助隊第一方面隊
3月	3日	高度救助隊・特別救助隊一宮消防署長査閲	一宮消防署本署
	12日	高度救助隊一宮消防署長査閲	一宮消防署本署

水難

2025年度中

月	日	訓練名	場所
4月	14日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練	木曽川及び宝江ボート着水場 (北方町北方字川原屋敷地内)
	15日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練(一宮警察署との合同訓練)	木曽川及び宝江ボート着水場 (北方町北方字川原屋敷地内)
	14・21日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	22・29日	尾西消防署救命ボート取扱い訓練	木曽川左岸及び左岸河川敷 (冨田字砂原地内)
5月	12日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練	木曽川及び宝江ボート着水場 (北方町北方字川原屋敷地内)
	19日・26日	潜水ランク認定訓練及び潜水訓練	一宮市温水プール
6月	18日・19日	潜水ランク認定訓練及び潜水訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町字堤下一地内)
7月	22・23日	救助隊及び消防隊による水面救助訓練	木曽川及び宝江ボート着水場 (北方町北方字川原屋敷地内)
9月	3・16日	潜水応用訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町字堤下一地内)
	29日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
10月	6日	四消防本部合同水難救助訓練	稲沢市 木曽川馬飼大橋上流左岸
	20日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
11月	4・5日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町字堤下一地内)
	10・17日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
12月	8・15日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
1月	19・26日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
2月	9・16日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	25日	潜水応用訓練	小牧市 航空自衛隊小牧基地体育施設
3月	4日	潜水応用訓練	小牧市 航空自衛隊小牧基地体育施設
	9・16日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール

消 防 五 則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制 定 主 旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2026 年版 消防年報（第 76 号）

2026 年 7 月発行

編集・発行

一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-0119



一宮市消防本部

《1948年（昭和23年）創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.